

SONY

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HVR-V7J

SONY®

2-887-519-08 (1)

# デジタルHDビデオ カメラレコーダー

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

付属のCD-ROMには、HVR-V1シリーズ取扱説明書(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語(簡体字)版)が収録されています。詳しくは、5ページの「CD-ROMマニュアルを使う」をご覧ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan



2887519080

**HDV**  
HDV 1080i**DVCAM**™Mini DV Digital  
Video CassetteInfoLITHIUM™  
SERIES

MEMORY STICK™

**HDMI**®  
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE**HVR-V1J**

© 2006 Sony Corporation

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害**  
**など人への危害、また火災などの財産への損害**を未然  
に防止するため、次のことを必ずお守りください。



## 「安全のために」の注意事項を守る

### 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご連絡ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら  
煙が出たら

- ➡
- ① 電源を切る
  - ② 電池をはずす
  - ③ ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に連絡する

### **危険** 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたら、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。



この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。



この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。



この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

### 電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーバックも含みます。

# 使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

## 本機で使えるカセットについて

本機はHDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。

HDV/DV規格で記録するときは、ミニDVカセットのご使用をおすすめします。DVCAM規格で記録するときは、ミニDVCAMカセットのご使用をおすすめします。カセットメモリーには非対応です(111ページ)。

## HDV規格とは

- DV規格カセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができます。
- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーで採用されているMPEG2方式です。
- HDV規格は圧縮方式を使用しているため画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

## 本機で使える“メモリースティック”について

本機では、MEMORY STICK DUO (“メモリースティック デュオ”)、

MEMORY STICK PRO DUO (“メモリースティック プロ デュオ”)マーク付きの“メモリースティック デュオ”が使えます(詳しくは115ページ)。

“メモリースティック デュオ”  
(本機で使用するサイズ)



“メモリースティック”  
(本機では使用できません)



### ● ご注意

- “メモリースティック デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック プロ デュオ”は“メモリースティック プロ デュオ”対応機器でのみ使用可能です。
- “メモリースティック デュオ”本体、メモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。

## “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

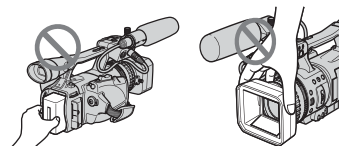
必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック  
デュオ アダプター



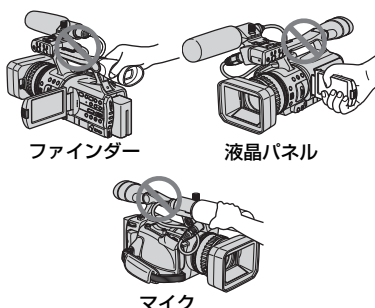
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。



バッテリー レンズカバー付きフード

## 使用前に必ずお読みください(つづき)

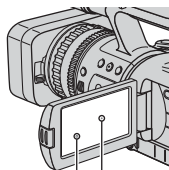


### ⚠️ ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください(119ページ)。
- HDMIケーブル、コンポーネントビデオケーブル、USBケーブル、i.LINKケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

### メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選ばません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒い点  
白や赤、青、緑の点

### ファインダー、レンズ、および液晶画面を絶対に太陽や強い光源に向けたままにしない

- 特にファインダー、レンズを太陽や強い光源に向けたままにすると、集光により内部部品の破損の原因となります。使用しないときには、太陽や強い光源に向かないように置き場所を工夫するか、レンズカバー、バッグなどを使用して保護してください。

### 本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(106ページ)。

### 録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合、記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声が乱れた場合、画像や音声などの記録内容及び、撮影機会の損失に対する保証についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

### 他機での再生に際してのご注意

HDV規格で記録したテープは、HDV規格に対応していない機器では再生できません。他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

# CD-ROM マニュアルを使う

## 本書で使うマークについて

- HV1080i** HDV規格だけで使える機能です。
- DVCAM** DVCAM規格だけで使える機能です。
- DV 互** DV SP規格だけで使える機能です。
- i.LINK** i.LINK接続時に使える機能です。
- USB** USB接続時に使える機能です。

## 本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT\*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。

コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

付属のCD-ROMには、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語(簡体字)のHVR-V1シリーズ取扱説明書(CD-ROMマニュアル)がPDF形式で収録されています。

## 準備

このCD-ROMマニュアルをご覧になるには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- Adobe Reader Version 7.0以降

▼ちよつと言

- Adobe Readerがインストールされていない場合は、以下のサイトからダウンロードできます。

URL: <http://www.adobe.co.jp>

Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

## CD-ROMマニュアルを見るには

CD-ROMマニュアルをご覧になるには、以下の手順に従ってください。

## 1 パソコンのCD-ROMドライブにCD-ROMをセットする。

トップページが自動的に表示されません。  
自動的に表示されないときは、CD-ROM内のindex.htmファイルをダブルクリックしてください。

## 2 読みたいCD-ROMマニュアルを選んでクリックする。

CD-ROMマニュアルのPDFファイルが開きます。

▼ちよつと言

- Acrobat Readerのバージョンによってはファイルが正しく表示されないことがあります。この場合は、「準備」に記載されたURLから最新のバージョンをダウンロードし、インストールしてください。

# 目次

安全のために .....	2
使用前に必ずお読みください .....	3
CD-ROM マニュアルを使う .....	5

## 準備する

準備 1: 付属品を確認める .....	9
準備 2: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける .....	10
準備 3: バッテリーを充電する .....	12
準備 4: 電源を入れて正しく持つ .....	16
準備 5: 液晶画面とファインダーを調節する .....	17
準備 6: 日付時刻を合わせる .....	19
準備 7: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる .....	21



## 撮る / 見る

撮る .....	23
見る .....	25
思い通りの設定で撮る .....	27
ズームする .....	27
ピントを手動調節する .....	28
明るさ / アイリスを調節する .....	29
自然な色合いに調節する (ホワイトバランス) .....	33
あらかじめ設定した画像で撮る (ピクチャープロフィール) .....	34
好みの音に設定する .....	37
ASSIGN ボタンに機能を設定する .....	38
遠くの被写体にピントを合わせる (フォーカス無限) .....	39
インデックス信号を打ち込む .....	39
テープを停止した場面を確認する (レックレビュー) .....	40
最後に録画した場面を頭出しする (エンドサーチ) .....	40
最後に撮影した動画を再生する (ラストシーンレビュー) .....	40
ショットトランジションを使う .....	40
本機の設定を変更 / 確認する .....	43
画面表示を切り替える .....	43
本機の設定を確認する (ステータスチェック) .....	43
バッテリー残量を確認する (バッテリーインフォ) .....	44
テープの頭出しをする .....	45
撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ) .....	45
録画の開始位置を探す (インデックスサーチ) .....	45
テレビにつないで見る .....	46

## メニューで設定を変更する

メニューの使いかた .....	52
メニュー一覧 .....	54
 (CAMERA SET)メニュー .....	57
撮影状況に合わせるための設定 (EXPOSURE/IRIS/STEADYSHOT/ BACK LIGHT など)	
 (AUDIO SET)メニュー .....	64
録音に関する設定 (DV AU. MODE/XLR SET など)	
 (DISPLAY SET)メニュー .....	66
画面 / ファインダーの表示設定 (MARKER/VF B. LIGHT/DATA CODE など)	
 (IN/OUT REC)メニュー .....	71
録画、入出力に関する設定 (VCR HDV/DV/DV REC MODE/DV WIDE REC/DOWN CONVERT など)	
 (TC/UB SET) メニュー .....	74
(TC PRESET/UB PRESET/TC LINK など)	
 (MEMORY SET)メニュー .....	76
“メモリースティック デュオ”に関する設定 (QUALITY/ALL ERASE など)	
 (OTHERS)メニュー .....	78
テープ撮影時の設定や、各種基本設定 (USB SELECT/QUICK REC/ BEEP など)	

## ダビングや編集をする

他のビデオ、DVD/HDD レコーダーにダビングする .....	81
ビデオの画像を本機で録画する .....	84
テープに録画した動画を“メモリースティック デュオ”に 静止画として記録する .....	86
“メモリースティックデュオ”の画像を消す .....	87
撮影した静止画を印刷する (PictBridge 対応プリンター) .....	88

## パソコンとつなぐ

パソコンと接続する .....	90
静止画をパソコンに取り込む .....	90
テープの動画をパソコンに取り込む .....	93

## 困ったときは

故障かな？と思ったら .....	96
警告表示とお知らせメッセージ .....	106

## その他

海外で使う .....	110
HDV 規格と記録・再生について .....	111
DVCAM/DV 規格の互換性について .....	113
“メモリースティック”について .....	115
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて .....	117
i.LINK(アイリンク)について .....	118
取り扱い上のご注意とお手入れ .....	119
主な仕様 .....	122
保証書とアフターサービス .....	124

## 安全のために

125

## 各部のなまえ・索引

各部のなまえ .....	129
ファインダーと液晶画面の表示 .....	135
索引 .....	138



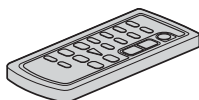
# 準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

( )内は個数。

- ビデオカセット、“メモリースティック デュオ”、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるカセットテープと“メモリースティック デュオ”については111ページ、115ページをご覧ください。

ワイヤレスリモコン(1)(134ページ)

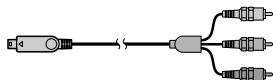


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

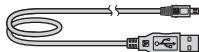
AV接続ケーブル(1)(46、51ページ)



コンポーネントビデオケーブル(1)(46ページ)



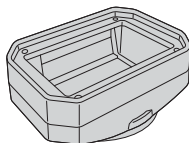
USBケーブル(1)(88、90ページ)



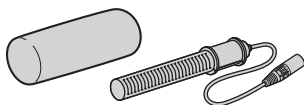
大型アイカップ(1)(18ページ)



レンズカバー付きフード(1)(10ページ)



ウインドスクリーン(1)、マイク(1)(10ページ)



CD-ROM 「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)(5ページ)

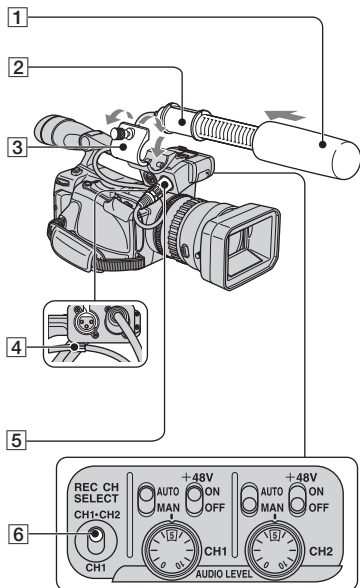
取扱説明書 <本書> (1)

保証書(1)

ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内(1)

# 準備2:マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける

## マイクを取り付ける



1 付属のマイク②にウインドスクリーン①をかぶせる

2 マイクホルダー③のネジをゆるめ、取り付け部のカバーを開ける。

3 マイクをマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーのネジを締める。

マイクは、型名が記された部分が上になるように取り付けます。

4 マイクケーブルをINPUT1端子⑤につなぐ

5 マイクケーブルをケーブルホルダー④に取り付ける。

6 REC CH SELECTスイッチ⑥で、使用するチャンネルを選ぶ。

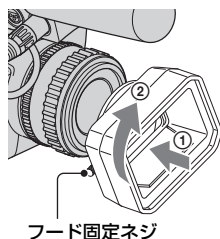
記録されるチャンネルについては下表をご覧ください。

REC CH SELECTスイッチの設定	接続する端子	記録されるチャンネル
CH1・CH2	INPUT1	チャンネル1 チャンネル2
	INPUT2	—
CH1	INPUT1	チャンネル1
	INPUT2	チャンネル2

💡ちょっと一言

- マイク音量調節は37ページをご覧ください。
- 付属マイクを使用するときは、+48VスイッチはONにしてください。

## レンズカバー付きフードを取り付ける



フード固定ネジ

本体とフードの印を合わせて、矢印の方向に回す。次にフード固定ネジをしめる。

## レンズカバー付きフードを取り外すには

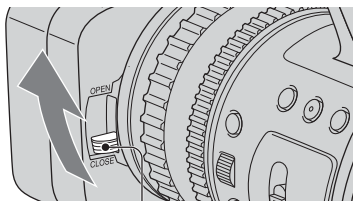
フード固定ネジをゆるめ、前ページの矢印と反対方向に回す。

💡ちょっと一言

- 直径62ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付け、取り外し、調整をするときは、レンズカバー付きフードを取りはずしてください。

## レンズカバーを開閉するには

開閉するにはレンズカバーレバーを上下に動かす。



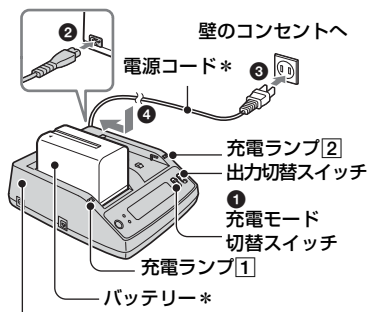
レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。

## 準備 3: バッテリーを充電する

別売りのアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。  
専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をACアダプター/チャージャーに取り付けて充電します。

### ⚡ ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)(117ページ)以外のバッテリーは使えません。



ACアダプター/チャージャー  
AC-VQ1051D\*

\* 別売りのACCKIT-D12Bに付属

**1** 出力切替スイッチをCHARGEに、充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」(実用充電)または「FULL CHARGE」(満充電)にする。

**2** 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。

**3** 電源コードをコンセントにつなぐ。

**4** バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

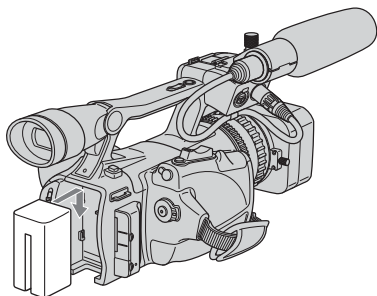
### 充電について

充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」にすると実用充電まで、「FULL CHARGE」にすると若干長く使える満充電まで充電します。充電が終わると表示窓のバッテリーマーク(🔋)がすべて点灯します。

### 💡 ちょっと一言

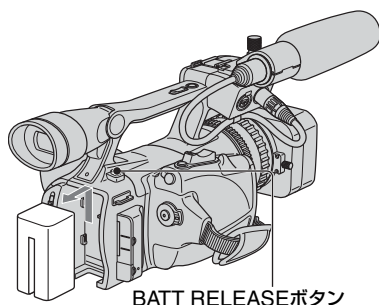
- バッテリーインフォでバッテリー残量を確認できます(44ページ)。

本機にバッテリーを取り付けるには  
バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



## バッテリーを取り外すには

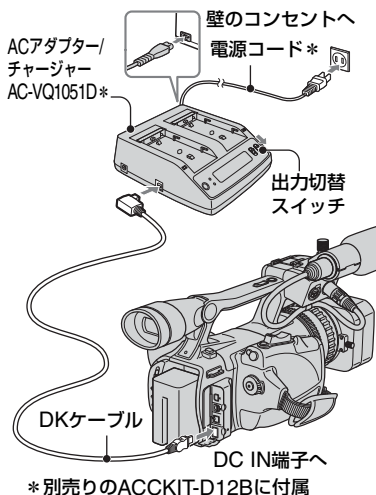
POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを取り外す。



BATT RELEASEボタン

## 本体充電するには

本機に取り付けたバッテリーを充電できます。



\* 別売りのACCKIT-D12Bに付属

- ① バッテリーを本機に取り付ける。
- ② DKケーブルを本機のDC IN端子につなぐ。

- ③ DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ④ 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ⑤ ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。

### ⚠ ご注意

- ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチが「CHARGE」側になっていると電源は供給されません。

- ⑥ 本機のPOWERスイッチを「OFF(CHG)」にする。  
充電ランプが点灯し、充電が始まります。充電が終わると、充電ランプが消えます（満充電）。  
DKケーブルを本機のDC IN端子から抜いてください。

## 保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。（保管について詳しくは117ページをご覧ください。）

## コンセントにつないで使うには

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。また、バッテリーを取り付けたまま使っても、バッテリー自身は消耗しません。

- ① ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
- ② 「本体充電するには」と同じ方法で接続する（13ページ）。
- ③ 電源コードをコンセントにつなぐ。

### ⚠ ご注意

- バッテリーで使用するときは、DC IN端子からDKケーブルを抜いてください。電源コードをコンセントから抜いても、DC IN端子にDKケーブルがつながっていると、バッテリーから電源が供給されません。

## 準備3:バッテリーを充電する(つづき)

### 充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-F570	260
NP-F770	370
NP-F970	485

❗ ご注意

- NP-F330はご使用できません。

### 撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F570	135	80
	135	80
	135	80
NP-F770	280	165
	290	170
	280	165
NP-F970	415	235
	430	240
	415	235

DVCAM (DV) 規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F570	135	85
	140	90
	135	85
NP-F770	290	175
	290	175
	290	175
NP-F970	430	255
	435	260
	430	255

上段:液晶画面バックライトが「ON」のとき

中段:液晶画面バックライトが「OFF」のとき

下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

\* 実撮影時とは、録画スタンバイ、POWER スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

### 再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-F570	200	200
NP-F770	410	410
NP-F970	620	620

DVCAM (DV) 規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-F570	210	210
NP-F770	435	435
NP-F970	660	660

\* 液晶画面バックライトが「ON」のとき

### バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(44ページ)が正しく表示されないことがあります。
  - ー バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - ー バッテリーが故障しているとき
  - ー バッテリーが劣化しているとき  
(バッテリーインフォ表示のみ)
  - ー バッテリーの温度が低いとき  
バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
  - ー バッテリーの温度が高いとき  
バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーNP-F970のご使用をおすすめします。

**充電/撮影/再生時間について**

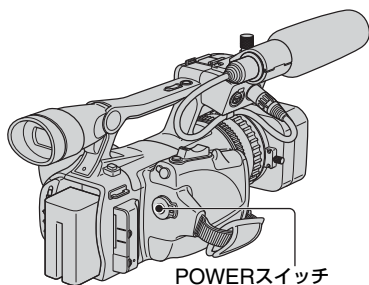
- 25℃ (10℃～30℃が推奨) で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

**ACアダプターについて**

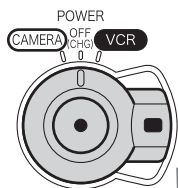
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

## 準備 4:電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、POWERスイッチをそれぞれの電源モードに切り換えます。  
初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります(19ページ)。



### 1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを切り換える。

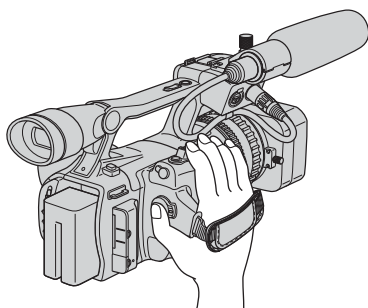


「CAMERA」:撮影時  
「VCR」:再生や編集時

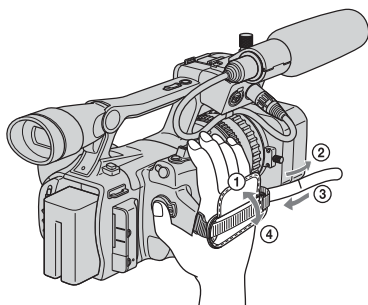
#### ⚡ ご注意

- [CLOCK SET] (19ページ)を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

### 2 本機を正しく構える。



### 3 ベルトをしっかりと締める。



### 電源を切るには

POWERスイッチをずらして、「OFF(CHG)」にする。

#### ⚡ ご注意

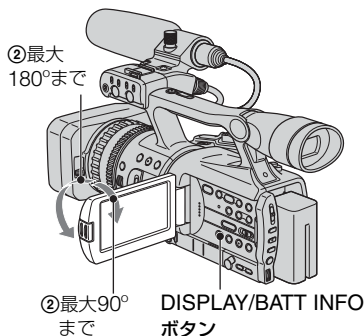
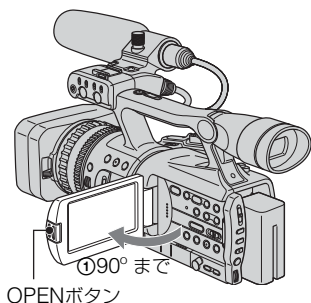
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください(107ページ)。



# 準備 5:液晶画面とファインダーを調節する

## 液晶画面を見やすく調節する

OPENボタンを押しながら液晶画面を90°まで開き①、見やすい角度に調節する②。



🔊ちよつと言

- 液晶画面を①の状態からレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面を閉じるときは、液晶画面を①の状態にしてから、本体に向けて閉じます。

## 液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAY/BATT INFOボタンを $\square$ Offが表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長

持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。

解除するにはもう1度 $\square$ Offが消えるまで押したままにする。

🔊ちよつと言

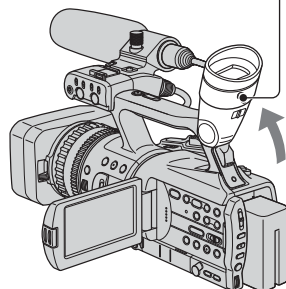
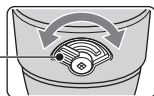
- 液晶画面の明るさは、[LCD BRIGHT] (68ページ)で調節できます。

## ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

視度調整つまみ

画像がはっきり見えるように動かす



🔊ちよつと言

- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[VF B. LIGHT]で設定できます (69ページ)。
- 液晶画面とファインダーの両方に画像を映すには、[VF POWERMODE]を[ON]にします (69ページ)。
- ファインダーの画像を白黒にするには、[VF COLOR]を[OFF]にします (69ページ)。

## 準備5:液晶画面とファインダーを調節する(つづき)

### ファインダーの画像が見えにくいときは

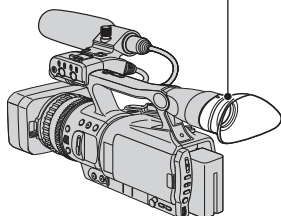
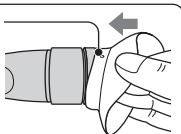
周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて大型アイカップを取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

#### ❗ ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取り外さないでください。

#### 大型アイカップ(付属)

突起が真上になるように取り付ける

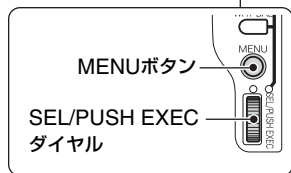
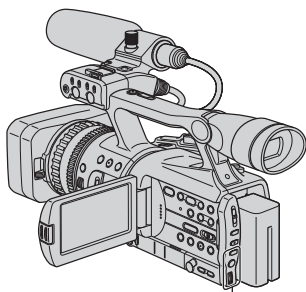


# 準備 6: 日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに[CLOCK SET]画面が表示されます。

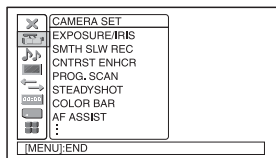
☝ちょっと一言

- 3か月近く使わないでくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(120ページ)。

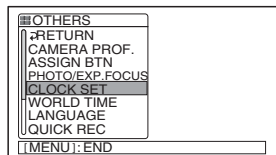


初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

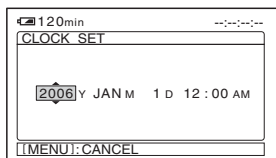
## 1 MENUボタンを押す。



## 2 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して (OTHERS)メニューを選び、押して決定する。

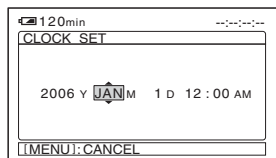


## 3 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して[CLOCK SET]を選び、押して決定する。



## 4 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して[Y]を選び、押して決定する。

2079年まで設定できます。



---

### 5 同様に、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXEC ダイアルを押して決定する。

時計が動き始めます。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

---

#### 💡ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。  
自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます ([DATA CODE] 69ページ)。

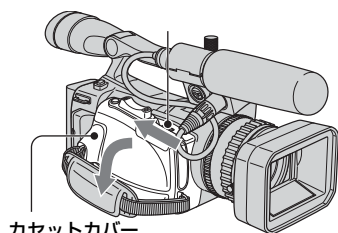
# 準備7:カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる

## カセットを入れる

使えるカセットや誤消去防止方法など、カセットについて詳しくは、111ページをご覧ください。

- 1 ㏐ OPEN/EJECTつまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

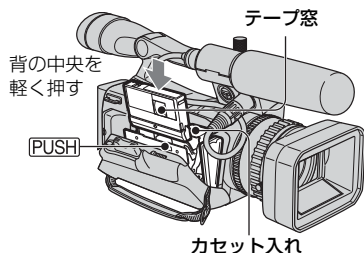
㏐ OPEN/EJECTつまみ



カセットカバー

カセット入れが自動的に出て開きます。

- 2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、**[PUSH]** マークを押す。



カセット入れが自動的に収納されます。

### ⚠ ご注意

- カセット入れが引き込まれているときに **[DO NOT PUSH]** の刻印部分を押さないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。

- 3 カセットカバーを手で閉める。

💡 ちょっと一言

- [DV REC MODE]によって、録画可能時間は異なります(71ページ)。**DVCAM DV**

カセットを取り出すには

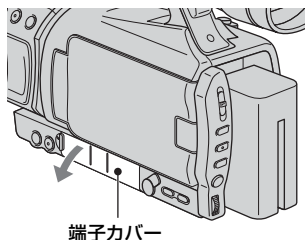
手順1と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

## 準備7:カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる(つづき)

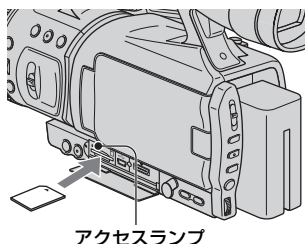
### “メモリースティック デュオ”を入れる

MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO  
マーク付き“メモリースティック デュオ”のみ使えます(115ページ)。

#### 1 端子カバーを開ける。



#### 2 “メモリースティック デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。



#### ⚠ ご注意

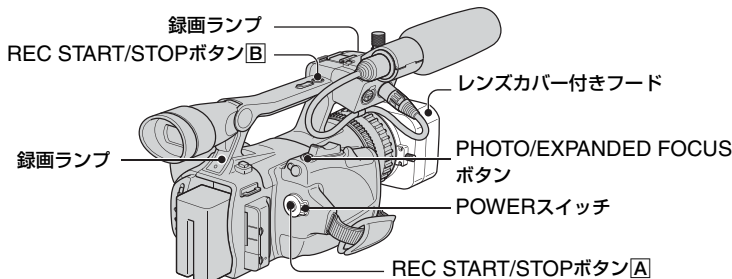
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。

#### “メモリースティック デュオ”を取り出すには

“メモリースティック デュオ”を軽く1回押して取り出す。

#### ⚠ ご注意

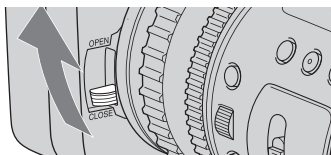
- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 出し入れ時には“メモリースティック デュオ”の飛び出しにご注意ください。



本機は動画をテープに、静止画を“メモリースティック デュオ”に記録します。下記の手順で動画を撮影します。

- 動画はHDV、DVCAM、DVいずれの録画フォーマットでも記録できます。お買い上げ時はHDV規格で撮影するように設定されています([REC FORMAT]、71ページ)。

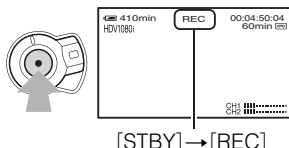
## 1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。



## 2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「CAMERA」にする。



## 3 REC START/STOPボタン[A] (または[B])を押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、REC START/STOPボタンをもう1度押す。

💡ちよっと一言

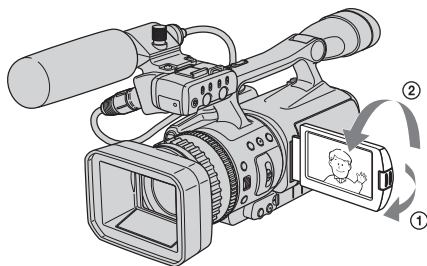
- HDV規格撮影時は、画像の横縦比は16:9に固定されます。DVCAM (DV) 規格で録画するときは、4:3に切り替えることもできます([DV WIDE REC](72ページ))。

## 撮る(つづき)

- 撮影中の画面表示の切り替えについては43ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については135ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます ([REC LAMP]80ページ)。
- “メモリースティック デュオ”に動画録画はできません。

### 対面撮影するには

液晶画面を90° まで開き(①)、レンズ側に180° 回す(②)。



#### 💡ちょっと一言

- 液晶画面には、左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

### 静止画を撮るには

PHOTO/EXPANDED FOCUSボタンを押す。“メモリースティック デュオ”に静止画が記録される。||||| が消えると記録が完了する。

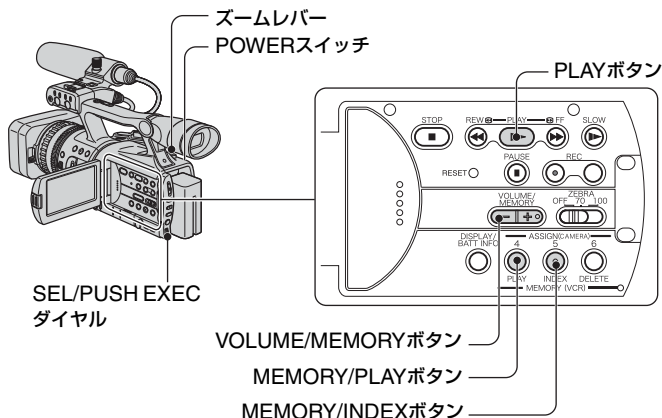
動画撮影中も静止画撮影できます。

#### 💡ちょっと一言

- 動画撮影していないときは、「カシャ」と音が出ます。
- 静止画の画像サイズは以下のとおりです。
  - HDV規格/DVCAM (DV) 規格(16:9) 撮影時: 1.2M(1,440×810ドット)
  - DVCAM (DV) 規格(4:3) 撮影時: 0.9M(1,080×810ドット)
- [■QUALITY]、撮影可能枚数については76ページをご覧ください。
- 撮影中の画面については135ページをご覧ください。
- PHOTO/EXPANDED FOCUSボタンを押すと拡大フォーカスするように設定できます(79ページ)。

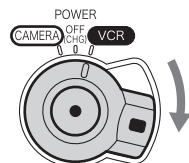


# 見る



下記の手順で動画を再生します。

## 1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「VCR」にする。



## 2 再生を始める。

◀◀ (巻戻し) ボタンを押して、見たい位置まで巻き戻し、▶▶ (再生) ボタンを押す。

- : 再生停止
- ||: 一時停止 (▶▶ または || を押すと通常の再生に戻る)
- ▶▶ / ◀◀: 早送り / 早戻し
- ▶: スロー再生

### ⚠ ご注意

- 一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。
- HDV規格とDVCAM(DV)規格が混在したテープを再生するときは、HDVとDVCAM(DV)の信号が切り換わるたびに、一時画面が消えて、画像と音声が続切れません。
- HDV規格で記録したテープは、DVCAM(DV)規格のビデオカメラやミニDVデッキでは再生できません。
- DV規格のテープは、SPモードで記録されている場合のみ、本機で再生できます (DV SP 表示が出ます)。LPモードで記録されたテープは再生できません。
- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードやユーザービットが正常に表示されません。

## 見る(つづき)

### 🗣️ちょっと一言

- 再生中の画面表示については136ページをご覧ください。
- 再生中の画面表示の切り替えについては43ページをご覧ください。

### 動画を見ながら場面を探すには

再生中に▶▶/◀◀を押したままにする(ピクチャーサーチ)。早送り中に見るときは▶▶を、巻戻し中は◀◀を押したままにする(高速アクセス)。

### 📢ご注意

- HDV規格で記録したテープは、逆方向にピクチャーサーチ/高速アクセスできません。

### 音量を調節するには

VOLUME/MEMORYボタンで調節する。

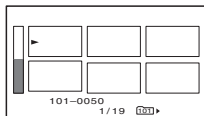
### 静止画を見るには

- ① POWER スイッチを「VCR」にする。
- ② MEMORY/PLAY ボタンを押す。
- ③ VOLUME/MEMORY ボタンを押して静止画を選ぶ。

静止画再生をやめるには、もう1度MEMORY/PLAYボタンを押す。

### 静止画を一覧表示するには(インデックス表示)

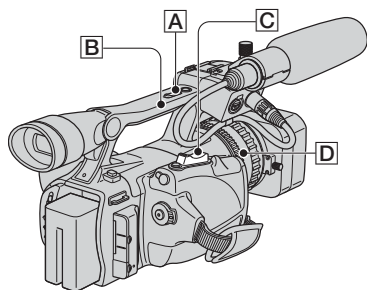
- ① POWER スイッチを「VCR」にする。
- ② MEMORY/INDEX ボタンを押す。



- ③ VOLUME/MEMORY ボタンを押して、画像を選ぶ。  
▶を表示したい画像に合わせて MEMORY/PLAY ボタンを押すと、1枚表示になる。  
一覧表示をやめるには、もう一度 MEMORY/INDEX ボタンを押す。

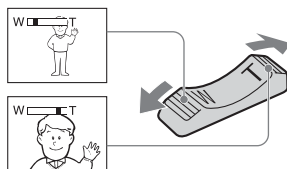
# 思い通りの設定で撮る

## ズームする



ズームレバー[C]を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角:Wide(ワイド)



望遠:Telephoto(テレフォト)

🗨️ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- [FOCUS MACRO]が[OFF]のときは、ズーム位置によらず、80cm以内の被写体にはピントが合いません(59ページ)。
- ズームレバー[C]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[C]の操作音が記録されることがあります。

## ハンドルズームを使うには

- ① ハンドルズーム切換スイッチ[B]を「L」(遅い)または「H」(速い)にする。

🗨️ちょっと一言

- [HANDLE ZOOM]でハンドルズームレバーの速度を設定できます(60ページ)。

- ② ハンドルズームレバー[A]を押してズームする。

📌ご注意

- ハンドルズームレバーの押し具合でズーム速度を変えることはできません。
- ハンドルズーム切換スイッチ[B]が「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズーム切換スイッチ[B]で本体のズームレバー[C]の速さを変えることはできません。

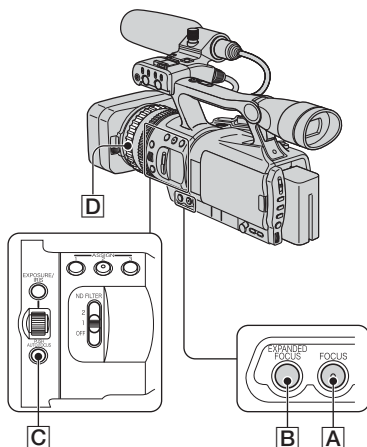
## ズームリングを使うには

ズームリング[D]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

📌ご注意

- ズームリング[D]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームがリング[D]の回転に追いつかないことがあります。

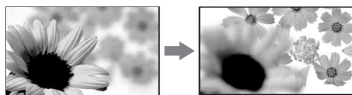
## ピントを手動調節する



撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体

## 1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSボタン[A]を押す。

☑が表示されます。

## 2 フォーカスリング[D]を回し、ピントが合うように調節する。

☑は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

💡ちょっと一言

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

## 自動調節に戻すには

FOCUSボタン[A]をもう一度押す。

☑が消え自動調節に戻ります。

## 一時的にオートフォーカスで撮る(ワンプッシュオートフォーカス)

PUSH AUTO FOCUSボタン[C]を押したまま撮影する。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

💡ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。(別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
- ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
- フォーカスリングを回したとき

## 拡大表示をしてピントを合わせる (拡大フォーカス)

スタンバイ中にEXPANDED FOCUSボタン**[B]**を押す。  
[EXPANDED FOCUS]が表示され、画面中央が約2.0倍([PROG. SCAN]時は約1.5倍)に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

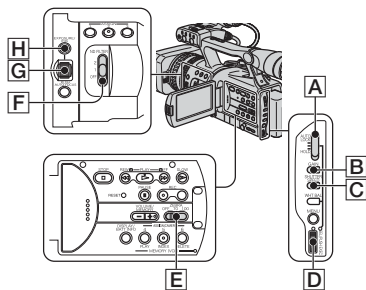
### ⚠️ご注意

- 拡大表示中にREC START/STOPボタンまたはPHOTO/EXPANDED FOCUSボタンを押すと、拡大表示は解除されます。

### 💡ちょっと一言

- 拡大フォーカス時の画像タイプを選択できません([EXP.FOCUS TYPE], 67ページ)。
- [EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が[OFF]以外のとき、以下の機能は働きません。
  - EXPANDED FOCUSボタン
  - [ALLSCAN MODE]に割り当てたASSIGNボタン

## 明るさ/アイリスを調節する



EXPOSURE/IRISダイヤル**[G]**で画像の明るさを調節できます。

EXPOSURE/IRISダイヤル**[G]**に、メニューで[EXPOSURE1] (お買い上げ時の設定)、[EXPOSURE2]、[IRIS]、[AE SHIFT]から1つを選んで割り当てることができます(57ページ)。

### 💡ちょっと一言

- EXPOSURE/IRIS設定時にアイリス値をF2.8よりも絞りを開いた(アイリス値が小さい)値(例:F1.6)に設定してもズームがW→TになるにつれてアイリスはF2.8に変化します。
- EXPOSURE/IRISダイヤルで調整可能な設定値は画面に**[I]**が表示されます。

## ■ EXPOSURE1(お買い上げ時の設定)

画像の明るさをアイリスとゲインで調節できます(シャッタースピードは固定となります)。

画面にアイリス、ゲイン、シャッタースピードが表示されます。

明るさの調節範囲を広くしたいときに選びます。



## 思い通りの設定で撮る(つづき)

### 📌 ご注意

- GAINボタン、SHUTTER SPEEDボタンは無効になります。

### 💡 ちょっと一言

- ダイヤル操作で画面の明るさを変え、好みの明るさに固定したいときに便利です。

## ■ EXPOSURE2

画像の明るさをアイリスで調節できます(ゲインとシャッタースピードは固定となります)。

画面にアイリス、ゲイン、シャッタースピードが表示されます。

ゲインによるノイズ感を抑えたいときに選べます。



### 📌 ご注意

- GAINボタン、SHUTTER SPEEDボタンは無効になります。

### 💡 ちょっと一言

- ダイヤル操作で画面の明るさを変え、好みの明るさに固定したいときに便利です。

## ■ IRIS

レンズに入る光量をF 1.6～F 11、クローズの範囲で調節できます。絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

画面にアイリス値が表示されます。



### 💡 ちょっと一言

- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲

囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。

- 背景をぼけさせたり、くっきりさせたいとき、またはアイリス、ゲイン、シャッタースピードを手動調節したいときに便利です。

## ■ AE SHIFT

オート撮影時に画面の明るさを少し調節したいときに、露出を手動で-7(暗く)～+7(明るく)の範囲で調節できます。

画面に **AS** が表示されます。



### 📌 ご注意

- 明るさが手動設定のときや、アイリス、ゲイン、シャッタースピードがすべて手動設定のとき[AE SHIFT]は効果がありません。
- ハイパーゲイン設定時は効果がありません。

### 💡 ちょっと一言

- AE SHIFTはメニューで調節することもできます(59ページ)

## 1 撮影またはスタンバイ中に、 AUTO LOCKスイッチ[A]を中央 (オートロック解除位置)にする。

EXPOSURE/IRISダイヤルにAE SHIFTを割り当てた場合はこの操作は不要です。

## 2 EXPOSURE/IRISボタン[H]を押す。

EXPOSURE/IRISダイヤル[G]が有効になります。

## 3 EXPOSURE/IRISダイヤル[G]を 回して、好みの設定にする。

### 👉ちよつと言

- 手動調節のあと、AUTO LOCKスイッチ[A]を「[HOLD]」の位置にすると、設定値が保持されます。

### 自動調節に戻すには

EXPOSURE/IRISボタン[H]を押す。または、AUTO LOCKスイッチ[A]を「[AUTO LOCK]」にする。

### 👉ちよつと言

- AUTO LOCKスイッチ[A]を「[AUTO LOCK]」にすると、他の手動調節(ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス)も一時的に解除されます。
- ズームがW側(広角)からT側(望遠)になるにつれて、アイリス値はF1.6からF2.8に変わります。

### 👉ちよつと言

- EXPOSURE/IRISダイヤル[G]の回転方向を[DIAL ROTATE](57ページ)で、感度を[DIAL SENS](57ページ)で変えることができます。
- 設定値は、STATUS CHECKボタンでも確認できます(43ページ)。
- 逆光補正については、62ページをご覧ください。

### 光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルターを使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に削減するように設定されています。

スタンバイ中にND<sub>1</sub>が点滅したときは、ND FILTERスイッチ[F]を「1」にしてND<sub>1</sub>を点灯させる。ND<sub>2</sub>が点滅したときは「2」にしてND<sub>2</sub>を点灯させる。ND<sub>OFF</sub>が点滅したときは「[OFF]」にして表示を消す。

### 👉ちよつと言

- 撮影中にNDフィルターを切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルター表示が出ません。

### 👉ちよつと言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルターを使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

### ゼブラパターンで明るさを調節する

画面の中で輝度が一定レベルを超える部分は白とびが生じることがあります。この部分にしま模様(ゼブラパターン)を表示する機能です。明るさを調節するときの目安として使用します。

ZEBRAスイッチ[E]でお好みの輝度レベルを選ぶと、ゼブラパターンが表示されます。輝度レベルは70、100から選びます。70を選ぶと、輝度レベルが70±5%の輝度信号の部分にゼブラパターンが現れます。100を選ぶと、100%以上の部分にゼブラパターンが現れます。

### ゼブラパターンを消すには

ZEBRAスイッチ[E]を「[OFF]」にする。

### 👉ちよつと言

- ゼブラパターンはテープには記録されません。

### 👉ちよつと言

- ヒストグラム(66ページ)を表示しながら明るさ調節すると便利です。

## 思い通りの設定で撮る(つづき)

### ゲインを調節する

黒っぽい被写体や暗い被写体を撮影するときに、AGC(オートゲインコントロール)によるゲインアップを行いたくないときなどに使います

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO LOCK スイッチ **[A]** を中央(オートロック解除位置)にする。
- ② GAIN ボタン **[B]** を押す。  
ゲイン値が表示されます。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[D]** を回して調節する。  
0dB ~ 18dB の間で、3dB 間隔で調節できます。

#### 💡ちよっと一言

- 手動調節のあと、AUTO LOCKスイッチ**[A]**を「HOLD」の位置にすると、設定値が保持されます。

### 自動調節に戻すには

GAINボタン**[B]**を押す。または、AUTO LOCKスイッチ**[A]**を「AUTO LOCK」にする。

#### 📌ご注意

- AUTO LOCKスイッチ**[A]**を「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節(アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス)も一時的に解除されます。

### シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO LOCK スイッチ **[A]** を中央(オートロック解除位置)にする。
- ② SHUTTER SPEED ボタン **[C]** を押す。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[D]** を回して、シャッタースピードを調節する。

1/4 秒 ~ 1/10000 秒の範囲で選べます。シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100 秒にすると[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

#### 💡ちよっと一言

- 手動調節のあと、AUTO LOCKスイッチ**[A]**を「HOLD」の位置にすると、設定値が保持されます。
- [PROG. SCAN]が[24]、[24A]のときは、1/3 ~ 1/10000秒の範囲で設定できます。

### 自動調節に戻すには

SHUTTER SPEEDボタン**[C]**を押す。または、AUTO LOCKスイッチ**[A]**を「AUTO LOCK」にする。

#### 📌ご注意

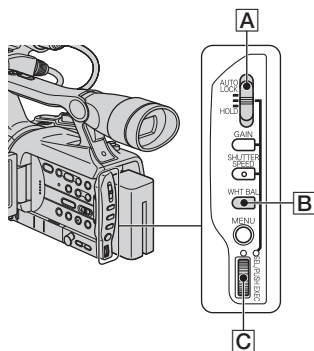
- AUTO LOCKスイッチ**[A]**を「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、ホワイトバランス)も一時的に解除されます。

#### 💡ちよっと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり(フリッカー現象)、色が変わったりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。



## 自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。☀️ A、または☀️ Bを選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。撮影時はSEL/PUSH EXEC ダイヤルで設定値を選びます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

**1** 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO LOCKスイッチ** **A**を中央(オートロック解除位置)にする。

**2** **WHT BALボタン** **B**を押す。

**3** **SEL/PUSH EXEC ダイヤル** **C**を回し、お好みの設定を表示させる。

表示が☀️ A→☀️ B→☀️ (屋外)→☀️ (屋内)と変わります。

### 表示 撮影状況例

☀️ A (メモリーA)	●メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。以下の手順に従ってください。
☀️ B (メモリーB)	●夜景やネオン、花火などを撮るとき ●日の出、日没などを撮るとき ●屋光色蛍光灯の下
☀️ (屋外)	●パーティー会場など照明条件が変化する場所 ●スタジオなどビデオライトの下 ●ナトリウムランプや水銀灯の下

### ☀️ ちょっと一言

- ☀️ (屋外)に設定しているときにSEL/PUSH EXECダイヤルを押して回すと屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)~0(標準、お買い上げ時の設定)~+7(赤め)から選べます。

### メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① 「自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)」の手順3で☀️ A または☀️ B を選ぶ。
- ② 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **C**を押す。  
☀️ A または☀️ B が早い点滅に変わる。  
ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだ☀️ A または☀️ B 調整値が記憶されます。

### 自動調節に戻すには

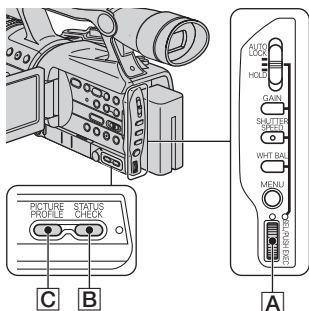
WHT BALボタン**B**を押す。または、AUTO LOCKスイッチ**A**を「AUTO LOCK」にする。

## 思い通りの設定で撮る(つづき)

### ④ご注意

- AUTO LOCKスイッチ[A]を「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も一時的に解除されます。

### あらかじめ設定した画像で撮る(ピクチャープロファイル)



[COLOR LEVEL]や[SHARPNESS]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ピクチャープロファイル番号 (設定名)	撮影条件
PP1 (PORTRAIT)	人物撮影向けの設定値
PP2 (CINEMA)	映画のような映像を撮影するときの設定値
PP3 (SUNSET)	夕焼けを撮影するときに適した設定値
PP4 (MONOTONE)	モノトーン撮影するときの設定値

ピクチャープロファイル番号 (設定名)	撮影条件
PP5 (-----)	お好みに合わせて登録できます。
PP6 (-----)	お好みに合わせて登録できます。

**1** スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタン[C]を押す。

**2** SEL/PUSH EXEC ダイヤル[A]を回してピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

**3** SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選んで、押して決定する。

**ピクチャープロファイル撮影をやめるには**

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXEC ダイヤル[A]を押して決定します。

**ピクチャープロファイルの内容を変更するには**

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できます。

- ① PICTURE PROFILE ボタン [C] を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル [A] を回して、設定を変更するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル [A] を回して[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイヤル [A] を回して調節したい項目を選び、押して決定する。

- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回して画質を調節し、押して決定する。

項目	調節する内容
[COLOR LEVEL]	-7(薄くなる)~+7(濃くなる) -8:白黒で撮影する。
[COLOR PHASE]	-7(緑がかかる)~+7(赤みがかかる)
[SHARPNESS]	0(輪郭が柔らかくなる)~15(くっきりする)
[SKINTONE DTL]	肌色部分の輪郭を抑えて、肌のしわを目立たなくする。 [TYPE1]: (肌色と認識する色の領域が狭い)~ [TYPE3]: (肌色と認識する色の領域が広い) [OFF]: 設定しない。
[SKINTONE LVL]	[SKINTONE DTL] 設定時の肌色部分の輪郭度合いを設定する。1(輪郭の抑え度合いが弱い)~6(輪郭の抑え度合いが強い)
[WB SHIFT]	-7(画像が青みがかかる)~+7(赤みがかかる)
[KNEE POINT]	被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮しはじめるポイントを設定する。 [AUTO]: 自動で二ーポイント調節する。 [HIGH]: 高めの二ーポイント [MIDDLE]: 標準的な二ーポイント [LOW]: 低めの二ーポイント

項目	調節する内容
[BLK COMPNSTN]	[OFF]: 通常の撮影 [STRETCH]: 暗部のγカーブ特性を上げて、暗部の階調表現を増加する。 [COMPRESS]: 暗部のγカーブ特性を抑制して、引き締まった黒を表現する。
[CINEMA TONE GAMMA]	[OFF]: 通常の撮影 [TYPE1]: 標準的なビデオガンマよりも良好なトーンスケールで肌色からニュートラルにかけて自然な中間色調を再現。そのため、人の肌が生き生きと撮れる。また、ハイライト部に対する極めて高い描写力により、深みのある映像を実現。 [TYPE2]: [TYPE1]の特長に加え、シャドウ部からハイライト部までの全露光域にわたって極めて高い描写力があり、より深い黒の表現が可能。
[CINEMA TONE COLOR]	[OFF]: 標準の状態 [ON]: フィルムカメラの映像に近い発色になる。 [CINEMATONE GAMMA]との併用が効果的です。 また、[COLOR LEVEL]を-8にしたときの白黒撮影時にも効果があります。この場合、色の付いた被写体の輝度が変わります。
[PROFILE NAME]	設定したピクチャープロファイル[PP1]から[PP6]に名前を付けることができます。(36ページ)

## 思い通りの設定で撮る(つづき)

項目	調節する内容
[COPY]	他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。
[RESET]	ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

- ⑥ ④～⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して **[↩ RETURN]** を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して **[OK]** を選び、押して決定する。  
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

### 📌ご注意

- [SKINTONE DTL] で [TYPE 3] を選択している場合、肌色でない部分に効果が出ることがあります。

## ピクチャープロファイルの設定を確認するには

撮影またはスタンバイ中に、STATUS CHECK ボタン **[B]** を押す (43ページ)。

### 💡ちょっと一言

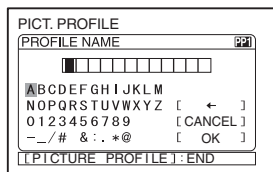
- ASSIGN ボタンにピクチャープロファイルを設定して、ピクチャープロファイルを ON/OFF できます (38ページ)。

## ピクチャープロファイルの各設定に名前をつけるには

[PP1]～[PP6]それぞれに任意で名前がつけられます。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[C]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して名前を設定するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で [SETTING] → [PROFILE NAME] を選ぶ。

- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して文字を選択し、押して決定する。この操作を繰り返してプロファイル名を入力する。



### 💡ちょっと一言

- 12文字までの名前をつけられます。  
使用できる文字  
– A～Z  
– 0～9  
– - \_ / # & : . \* @

- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で **[OK]** を選び、押して決定する。  
プロファイル名が変更されます。
- ⑥ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して、**[↩ RETURN]** → **[OK]** を選ぶ。

## ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[C]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して **[YES]** を選び、押して決定する。
- ⑥ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して、**[↩ RETURN]** → **[OK]** を選ぶ。

## お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

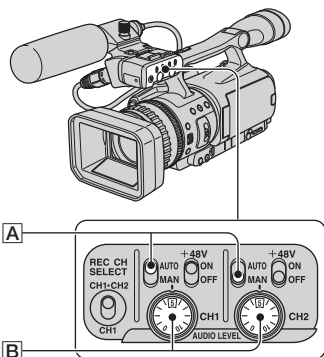
- ① PICTURE PROFILE ボタン **[C]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [↶ RETURN] → [OK] を選ぶ。

## 好みの音に設定する

INPUT1/INPUT2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

💡ちょっと一言

- 付属マイクの取り付けかたは10ページをご覧ください。



## 1 調節するチャンネルのAUTO/MANスイッチ **[A]** を「MAN」にする。

画面に **LM** が表示されます。

## 2 撮影中、またはスタンバイ中に AUDIO LEVELダイヤル **[B]** を回して、マイク音量を調節する。

INPUT1に取り付けたマイクの音量はCH1を、INPUT2に取り付けたマイクの音量はCH2で調節します。

## 自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MANスイッチ **[A]** を「AUTO」にする。

## 📌 ご注意

- +48Vに対応したマイク以外の機器を接続するときは、+48Vスイッチを「OFF」にしてください。「ON」のまま使用すると、接続した機器が故障することがあります。

# ASSIGN ボタンに機能を設定する

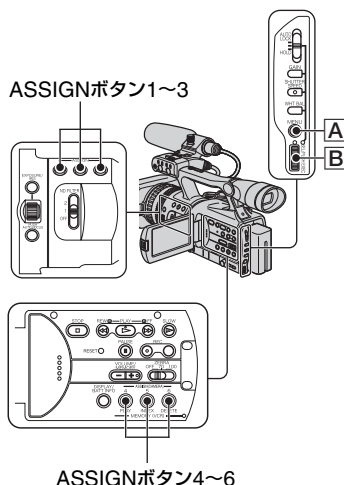
機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作するものがあります。ASSIGNボタン1～6に1つずつ割り当てられます。

## 割り当てられる機能

- LAST SCN RVW (40ページ)
- MARKER (66ページ)
- HYPER GAIN (62ページ)
- D. EXTENDER (62ページ)
- ALLSCAN MODE (67ページ)
- FOCUS INFNTY (39ページ)
- REC REVIEW (40ページ)
- END SEARCH (40ページ)
- INDEX MARK (39ページ)
- PEAKING (66ページ)
- STEADYSHOT (58ページ)
- COLOR BAR (58ページ)
- FOCUS MACRO (59ページ)
- SPOTLIGHT (62ページ)
- BACK LIGHT (62ページ)
- FADER (62ページ)
- DISPLAY (43ページ)
- PICTURE PROFILE (34ページ)
- SHOT TRANS (40ページ)

## ⓘ ご注意

- ASSIGNボタン4～6は、POWERスイッチが「VCR」の位置のときはメモリー再生用のボタンになり、ASSIGNボタンとして使用できません。POWERスイッチが「VCR」の位置のときはASSIGNボタン4～6に機能を割り当てることもできません。



## 1 MENUボタン[A]を押す。

## 2 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]で [OTHERS] メニュー → [ASSIGN BTN] を選ぶ。

## 3 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]を回して設定したいASSIGNボタンの番号 (ASSIGNボタン1～6、[SHOT TRANS]) を選び、押して決定する。

- 機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。
- [SHOT TRANS] を選んだときは[YES]を選んでから、手順6に進んでください。

## 4 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]を回して割り当てる機能を選び、押して決定する。

**5 SEL/PUSH EXECダイヤル****[B]**  
を回して**[OK]**を選び、押して決定する。

**6 MENUボタン****[A]**を押して、メニュー画面を消す。

🔔ちよっと一言

- SHOT TRANSはASSIGNボタン1/2/3に割り当てられます(60ページ)。ショットトランジションの割り当てを解除すると、設定前の割り当てに戻ります。
- ショットトランジションを解除するには、手順3で[SHOT TRANS] → [YES]を選ぶ。

### 遠くの被写体にピントを合わせる (フォーカス無限)

🔔ご注意

- フォーカス無限はピントを手動調節中のみ有効です。ピントを自動調節しているときは働きません。

**1 ASSIGNボタンに[FOCUS INFNTY]を設定する(38ページ)。**

**2 [FOCUS INFNTY]を割りあてたASSIGNボタンを押す。**

▲が表示されます。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。


### インデックス信号を打ち込む

インデックス信号を打ち込んで撮影すると、その場面を頭出しできます(45ページ)。インデックスの変わり目を確認したり、インデックスごとに編集するとき便利です。


**1 ASSIGNボタンに[INDEX MARK]を設定する(38ページ)。**


**2 [INDEX MARK]を割りあてたASSIGNボタンを押す。**

撮影中に押したとき

約7秒間  が表示され、インデックス信号が記録されます。

スタンバイ中に押したとき

 が点滅します。

REC START/STOPボタンを押して録画を始めると、約7秒間  が表示され、インデックス信号が記録されます。

インデックス打ち込みを取り消すには録画を始める前に、INDEX MARKを割り当てたASSIGNボタンをもう一度押す。

🔔ご注意

- 撮影したテープにインデックスを後から打ち込むことはできません。

### テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。直前に撮影した映像を確認するのに便利です。

**1** ASSIGNボタンに[REC REVIEW]を割り当てる(38ページ)

**2** スタンバイ中に、[REC REVIEW]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

テープを停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻ります。

### 最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)

#### ❖ご注意

- カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは動きません。

**1** ASSIGNボタンに[END SEARCH]を設定する(38ページ)。

**2** [END SEARCH]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

最後に録画した場面の末尾の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

#### ❖ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、エンドサーチが正しく動かない場合があります。

### 最後に撮影した動画を再生する(ラストシーンレビュー)

最後に撮影した場面の先頭まで巻き戻し、その場面の最後まで再生してから停止します。

**1** ASSIGNボタンに[LAST SCN RVW]を設定する。(38ページ)

**2** スタンバイ状態で[LAST SCN RVW]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

ラストシーンレビューが実行されます。

#### ❖ご注意

- 動画の記録時間が短い場合、[LAST SCN RVW]が正しく実行できない場合があります。

#### 💡ちょっと一言

- ラストシーンレビュー中に再度ASSIGNボタンを押すと、最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

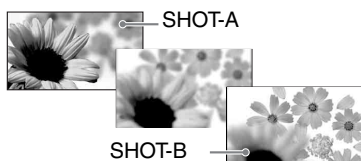
### ショットトランジションを使う

フォーカス、ズーム、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスの設定を登録し、登録した設定へなめらかに遷移(ショットトランジション)することができます。

例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカス送りをしたり、アイリスを設定して被写界深度を変化させたりできます。また、ホワイトバランスなどの手動調節機能を登録して、屋内の被写体から屋外の被写体へと、異なる撮影環境の間もなめらかに場面を切り換えることができます。

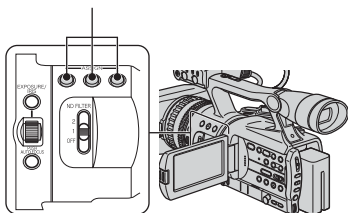


手ぶれを防ぐために三脚を使うことをおすすめします。



[SHOT TRANS]で遷移カーブや遷移時間などを設定できます(60ページ)。

ASSIGNボタン1～3



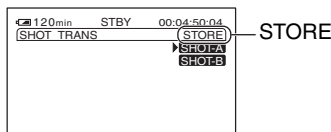
## 1 ASSIGNボタンに[SHOT TRANS]を設定する(38ページ)

💡ちょっと一言

- ショットトランジションは、ASSIGNボタンの1/2/3に同時に設定されます。

## 2 設定(ショット)を登録する

- ① ASSIGNボタン1を繰り返し押して、ショットトランジション登録画面にする。



- ② 手動で設定を調節する。  
各機能の調整のしかたについては、27～34ページをご覧ください。

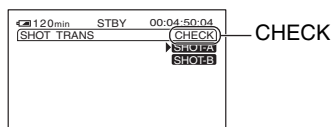
- ③ ASSIGNボタン2を押すとSHOT-A、ASSIGNボタン3を押すとSHOT-Bに登録される。

📌ご注意

- 登録したSHOT-A、SHOT-Bの設定値は、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にすると消去されます。

## 3 登録したショットを確認する

- ① ASSIGNボタン1を繰り返し押して、ショットトランジション確認画面にする。



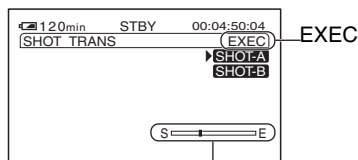
- ② SHOT-Aを確認するにはASSIGNボタン2を、SHOT-Bを確認するにはASSIGNボタン3を押す。  
登録したショットの画像に変わります。フォーカスやズームなどが登録した設定に自動的に調節されます。

📌ご注意

- [TRANS CURVE]や[TRANS TIME](60ページ)で遷移する様子は確認できません。

## 4 ショットトランジションを使って撮影する

- ① ASSIGNボタン1を繰り返し押して、ショットトランジション実行画面にする。



トランジションバー  
S:スタート  
E:エンド

- ② REC START/STOPボタンを押す。
- ③ SHOT-Aで撮影するにはASSIGNボタン2を、SHOT-Bで撮影するにはASSIGNボタン3を押す。  
現在の録画設定から、登録した設定に遷移します。

### 🔔ちょっと一言

- ショットトランジションを中止するには、ASSIGNボタン1を繰り返し押して、ショットトランジションを解除してください。

### 📌ご注意

- ショットトランジションの確認と実行操作中は、手動調節やズーム、フォーカスは働きません。
- [SHOT TRANS] (60ページ) を変更するときは、ASSIGNボタン1を繰り返し押して、ショットトランジション画面を抜けてから変更してください。
- 任意の設定からショットトランジションを実行したとき、登録したSHOT-A、またはSHOT-Bから元の設定に戻すことはできません。

- ショットトランジション操作中に次のボタンを押すと、ショットトランジションが解除されます。
  - PICTURE PROFILE
  - MENU
  - EXPANDED FOCUS
  - STATUS CHECK

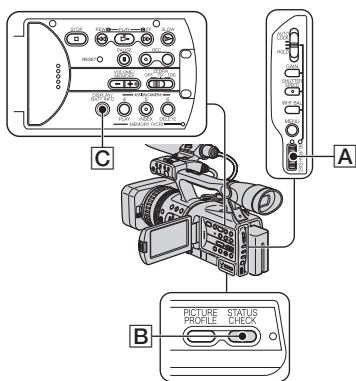
### 🔔ちょっと一言

- 登録したSHOT-AからSHOT-Bへ、またはその逆に遷移することもできます。例えばSHOT-AからSHOT-Bに遷移するときは、ショットトランジション確認画面を表示させてASSIGNボタン2を押して、あらかじめSHOT-Aの状態にしてから、REC START/STOPボタンを押します。次にショットトランジション実行画面を表示させてASSIGNボタン3を押してください。
- 手順4でREC START/STOPボタンを押す前に、希望の設定を登録したASSIGNボタン(2または3)を押すと、ショットトランジションのリハーサルができます。

## ショットトランジションを解除するには

ASSIGNボタン1を繰り返し押して、ショットトランジション画面から抜ける。

# 本機の設定を変更 / 確認する



## 画面表示を切り替える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

## DISPLAY/BATT INFOボタン[C]を押す。

押すたびに、(非表示)↔(表示)と変わります。

POWERスイッチが「CAMERA」のときは、(詳細表示)→(簡易表示)→(非表示)の順に変わります。

💡ちょっと一言

- テレビにつないで見るときは、[DISP OUTPUT]を[V-OUT/PANEL]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(70ページ)。

## 本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- マイク音量レベルなどの音声設定(64ページ)
- 出力に関する設定([VCR HDV/DV](71ページ)など)

- ASSIGNボタンに割り当てた機能(38ページ)
- カメラに関する設定(57ページ)
- ピクチャープロフィール(34ページ)

## 1 STATUS CHECKボタン[B]を押す。

## 2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して、項目を表示する。

POWERスイッチが「CAMERA」のときは、AUDIO→OUTPUT→ASSIGN→CAMERA→PICT.PROFILEと切り替わります。  
POWERスイッチが「VCR」のときは、AUDIO→OUTPUT→ASSIGN設定と切り換わります。


📌ご注意

- [PICT.PROFILE]が[OFF]になっていると、ピクチャープロフィールは表示されません。

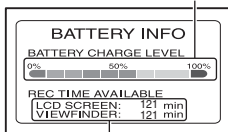
## 情報表示を消すには

STATUS CHECKボタン[B]を押す。

### バッテリー残量を確認する(バッテリーインフォ)

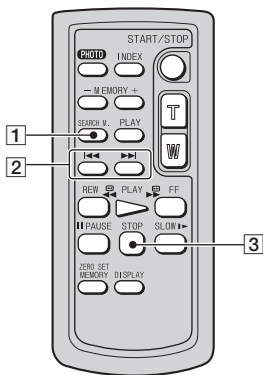
POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしたあと、DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択している録画フォーマットでの録画可能時間とバッテリーの情報が約7秒間表示される。情報が表示されている間に再度ボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できる。

およそのバッテリー残量



およその撮影可能時間

# テープの頭出しをする



## ⑥ご注意

- リモコンについては134ページもご覧ください。

## 撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ)

撮影日の変わり目を頭出しできます。

### 1 POWERスイッチを「VCR」にする。

### 2 リモコンのSEARCH M.ボタン [1]を繰り返し押して、「DATE SEARCH」を選ぶ。

### 3 リモコンの◀◀(前の日付)/▶▶ (後の日付)ボタン[2]を押して、頭 出しする。

現在のテープ位置に対して前後の日付  
を選びます。

選んだ場面で自動的に再生します。

## サーチを中止するには

リモコンのSTOPボタン[3]を押す。

## ⑥ご注意

- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔  
が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭  
出しできないことがあります。

## 録画の開始位置を探す(インデッ クスサーチ)

撮影開始時に打ち込んだインデックス  
(39ページ)を頭出しできます。

### 1 POWERスイッチを「VCR」にす る。

### 2 リモコンのSEARCH M.ボタン [1]を繰り返し押して、「INDEX SEARCH」を選ぶ。

### 3 リモコンの◀◀(前のインデッ クス)/▶▶(後のインデックス)ボタ ン[2]を押して、頭出しする。

現在のテープ位置に対して前後のイン  
デックスを選びます。選んだ場面で自  
動的に再生します。

## サーチを中止するには

リモコンのSTOPボタン[3]を押す。

## ⑥ご注意

- インデックスの間隔は2分以上必要です。間隔  
が短いと正しく頭出しできないことがありま  
す。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭  
出しできないことがあります。

# テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。  
電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(12ページ)。  
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

お使いのテレビの種類と付いている端子から、接続方法を選ぶ。

## ハイビジョンテレビ



### HD(ハイビジョン)画質\*

- HDV規格で撮影した映像はそのままHDV(HD画質)で再生
- DVCAM (DV) 規格で撮影した映像はそのままDVCAM (DV) (SD画質)で再生

コンポーネント(ピン端子)



**A**

→ 47ページ

HDMI端子



**B**

→ 48ページ

i.LINK端子  
(HDV  
1080i対  
応)



**C**

→ 48ページ

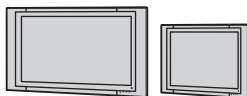
コンポーネント(D端子)



**D**

→ 49ページ

## ワイドテレビ/4:3テレビ



### SD(標準)画質\*

- HDV規格で撮影した映像をダウンコンバートして、DV(SD画質)で再生
- DVCAM (DV) 規格で撮影した映像はそのままDVCAM (DV) (SD画質)で再生

コンポーネント(ピン端子)



**E**

→ 50ページ

i.LINK端子



**F**

→ 50ページ

S(S1, S2) 端子



**G**

→ 50ページ

映像音声端子



**H**

→ 51ページ

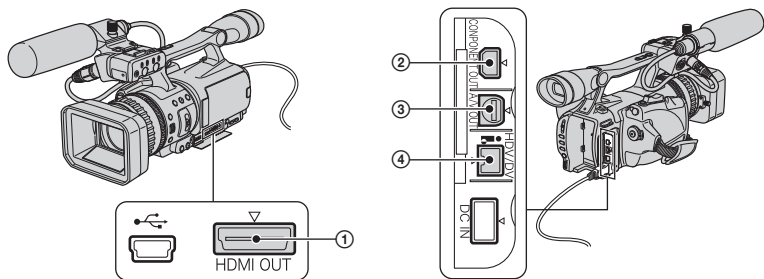
### ⓘ ご注意

- 本機のメニュー設定は接続の前に行ってください。i.LINKケーブルにつないでから[VCR HDV/DV]や[i.LINK CONV]の設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。

\* DVCAM (DV) 規格で撮影した画像はどの接続でもSD(標準)画質で再生されます。

## 本機の端子について

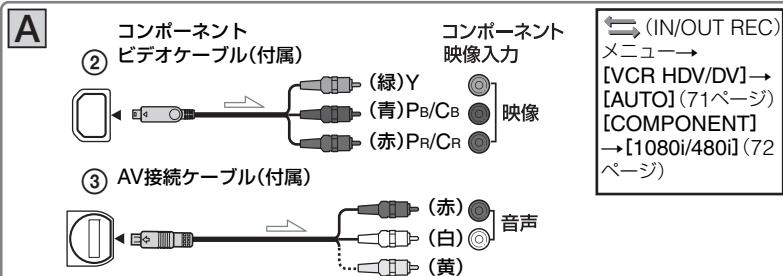
端子カバーを開けて接続してください。



## ハイビジョンテレビの接続方法

→ : 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------



### ご注意

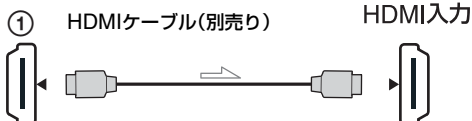
- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはAV接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

## テレビにつないで見る(つづき)

→ : 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

**B**



⇄ (IN/OUT REC)  
 メニュー→  
 [VCR HDV/DV]→  
 [AUTO]  
 (71ページ)

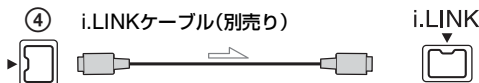
### ●ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM (DV) 規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(84ページ)を出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。また、本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。

### 💡ちょっと一言

- HDMI (High Definition Multimedia Interface)とはテレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

**C**



⇄ (IN/OUT REC)  
 メニュー→  
 [VCR HDV/DV]→  
 [AUTO] (71ページ)  
 [i.LINK CONV]→  
 [OFF] (72ページ)

### ●ご注意


- テレビにはHDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくはお使いのテレビの仕様をご確認ください。
- お使いのテレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、付属のコンポーネントビデオケーブルとAV接続ケーブルで **A** の接続をしてください。
- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK端子は4ピンです。テレビ側はテレビに合わせて端子を選んでください。




接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

**D**


② D端子コンポーネントビデオケーブル(別売り)




③ AV接続ケーブル(付属)



コンポーネント映像入力 (D3/D4/D5)



(赤) 音声  
(白) 音声  
(黄)



↔ (IN/OUT REC) メニュー →  
 [VCR HDV/DV] →  
 [AUTO] (71ページ)  
 [COMPONENT] →  
 [1080i/480i] (72ページ)

**⚠ ご注意**

- D端子コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはAV接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

## ワイドテレビ/4:3テレビの接続方法

### テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて [DOWN CONVERT] を変更してください(73ページ)。

#### ⚠ ご注意

- DVCAM (DV) 規格で記録したテープをワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に [DV WIDE REC] を [OFF] に設定してから撮影してください(72ページ)。

#### 💡 ちょっと一言

- モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときはAV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつないでください。モノラル音声で聞くとときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

## テレビにつないで見る(つづき)

→ : 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

**E** ② コンポーネントビデオケーブル(付属)      コンポーネント映像入力

③ AV接続ケーブル(付属)

④ ご注意

- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはAV接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

➡ (IN/OUT REC) メニュー → [VCR HDV/DV] → [AUTO] (71ページ) [COMPONENT] → [480i] (72ページ) [DOWN CONVERT] → [SQUEEZE]/[LETTER BOX]/[EDGE CROP]\* (73ページ)

**F** ④ i.LINKケーブル(別売り)      i.LINK

⑤ ご注意

- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK端子は4ピンです。テレビ側はテレビに合わせて端子を選んでください。

➡ (IN/OUT REC) メニュー → [VCR HDV/DV] → [AUTO] (71ページ) [i.LINK CONV] → [ON] (72ページ)

**G** ③ S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)      S(S1,S2)ビデオ

⑥ ご注意


- S(S1,S2)映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出するにはS映像ケーブル付きのAV接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。
- AV接続ケーブル(接続 H)に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

➡ (IN/OUT REC) メニュー → [VCR HDV/DV] → [AUTO] (71ページ) [DOWN CONVERT] → [SQUEEZE]/[LETTER BOX]/[EDGE CROP]\* (73ページ)

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

**H**

③ AV接続ケーブル(付属)



⇨ (IN/OUT REC)  
メニュー→  
[VCR HDV/DV]→  
[AUTO] (71ページ)  
[DOWN CONVERT]  
→[SQUEEZE]/  
[LETTER BOX]/  
[EDGE CROP]\*  
(73ページ)

\* お使いのテレビに合わせて設定してください。

#### 💡ちょっと一言

- i.LINK以外の端子から画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、HDMI端子→コンポーネントビデオ端子→S(S1、S2)映像端子→映像/音声端子の順で優先されます。
- i.LINKについて詳しくは118ページをご覧ください。

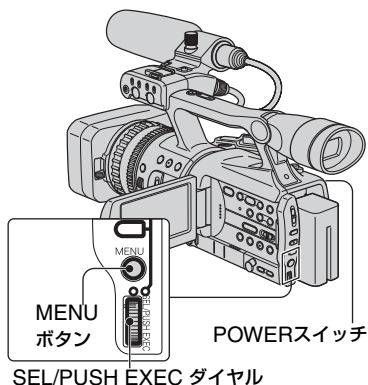
### ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって81ページで接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

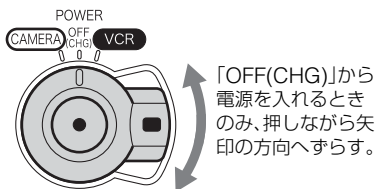
メニューで設定を変更する

## メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定より細かい設定ができます。

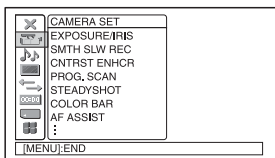


### 1 POWERスイッチを切り換える。



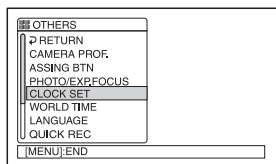
### 2 MENUボタンを押す。

メニューインデックス画面が表示されます。

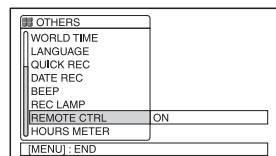


### 3 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回してメニューのマークを選び、押して決定する。

- CAMERA SET (57ページ)
- AUDIO SET (64ページ)
- DISPLAY SET (66ページ)
- IN/OUT REC (71ページ)
- TC/UB SET (74ページ)
- MEMORY SET (76ページ)
- OTHERS (78ページ)

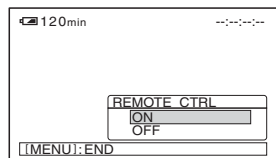


### 4 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



設定できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。選択できない項目は暗くなります。

### 5 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



---

## 6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[↩ RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

---

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR



## (CAMERA SET)メニュー (57ページ)

EXPOSURE/IRIS	●	—
SMTH SLW REC	●	—
CNTRST ENHCR	●	—
PROG. SCAN	●	—
STEADYSHOT	●	—
COLOR BAR	●	—
AF ASSIST	●	—
FOCUS MACRO	●	—
AE SHIFT	●	—
AE RESPONSE	●	—
AGC LIMIT	●	—
AT IRIS LMT	●	—
ATW SENS	●	—
FLCKR REDUCE	●	—
HANDLE ZOOM	●	—
SHOT TRANS	●	—
INTERVAL REC	●	—
DV FRAME REC <small>DVCAM DV 30</small>	●	—
BACK LIGHT	●	—
SPOTLIGHT	●	—
HYPER GAIN	●	—
D.EXTENDER	●	—
FADER	●	—



## (AUDIO SET)メニュー (64ページ)

DV AU. MODE <small>DVCAM DV 30</small>	●	—
MIC NR	●	—
XLR SET	●	—
AUDIO CH SEL	—	●
DV AUDIO MIX <small>DVCAM DV 30</small>	—	●

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR

**(DISPLAY SET)メニュー**(66ページ)

PEAKING	●	—
HISTOGRAM	●	—
MARKER	●	—
EXP.FOCUS TYPE	●	—
ALLSCAN MODE	●	—
CAM DATA DSP	●	—
AU. LVL DISP	●	—
ZOOM DISPLAY	●	—
FOCUS DISP	●	—
SHUTTER DISP	●	—
LCD BRIGHT	●	●
LCD COLOR	●	●
LCD BL LEVEL	●	●
VF B. LIGHT	●	●
VF COLOR	●	●
VF POWERMODE	●	●
DATA CODE	—	●
LETTER SIZE	●	●
REMAINING	●	●
DISP OUTPUT	●	●

**(IN/OUT REC)メニュー**(71ページ)

REC FORMAT	●	—
VCR HDV/DV	—	●
DV REC MODE	●	●
DV WIDE REC	●	—
EXT REC CTRL	●	—
COMPONENT	●	●
i.LINK CONV	●	●
DOWN CONVERT	●	●

00:00

**(TC/UB SET)メニュー**(74ページ)

TC PRESET	●	●
UB PRESET	●	●
TC FORMAT	●	●
TC RUN	●	●
TC MAKE	●	●
TC LINK	●	—
TC/UB DISP	●	●
UB TIME REC	●	●

メニューで設定を変更する

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR



## (MEMORY SET)メニュー(76ページ)

QUALITY	●	●
ALL ERASE	—	●
FORMAT	●	●
FILE NO.	●	●
NEW FOLDER	●	●
REC FOLDER	●	●
PB FOLDER	—	●



## (OTHERS)メニュー(78ページ)

CAMERA PROF.	●	●
ASSIGN BTN	●	●
PHOTO/EXP.FOCUS	●	●
CLOCK SET	●	●
WORLD TIME	●	●
LANGUAGE	●	●
USB SELECT	—	●
PB ZOOM	—	●
QUICK REC <small>HDV1080</small>	●	—
DATE REC	●	—
BEEP	●	●
REC LAMP	●	—
REMOTE CTRL	●	●
HOURS METER	●	●




# (CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定  
(EXPOSURE/IRIS/STEADYSHOT/  
BACK LIGHTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。  
( )内の表示が画面に出ます。

操作方法は52ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH  
EXEC ダイヤルで、 (CAMERA  
SET)を選択すると表示されます。

## EXPOSURE/IRIS

### ■ DIAL ASSIGN

EXPOSURE/IRISダイヤルに割り当てる機能を[EXPOSURE1](お買い上げ時の設定)、[EXPOSURE2]、[IRIS]、[AE SHIFT](29ページ)から選べます。

#### ●ご注意

- 割り当てる機能を変えると、それまで手動設定されていた設定は自動設定に戻ります。

### ■ DIAL SENS

EXPOSURE/IRISダイヤルの感度を[HIGH]、[MIDDLE](お買い上げ時の設定)、[LOW]から選びます。

### ■ DIAL ROTATE

EXPOSURE/IRISダイヤルの回転方向を選びます。

#### ▶ NORMAL

ダイヤルを上に戻すと明るくなる。

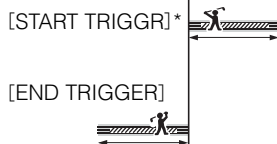
#### OPPOSITE

ダイヤルを下に戻すと明るくなる。

## SMTH SLW REC

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスなどの速い動きの撮影時に便利です。

- ① [REC TIME]を設定する。  
記録時間を[3sec](お買い上げ時の設定)、[6sec]、[12sec]から選ぶ。  
録画時間が長いほど、画質は劣化します。
- ② [REC TIMING]を設定する。  
記録開始タイミングを[START TRIGGR]、[END TRIGGER]から選ぶ。  
[START TRIGGR]を選ぶと REC START/STOP ボタンを押した後の、[END TRIGGER]を選ぶと押す前の動作、現象を記録します。



\* お買い上げ時の設定は[START TRIGGR]です。

- ③ 撮影する  
[EXECUTE]を選んでから、[SMTH SLW REC]画面で REC START/STOP ボタンを押す。  
[REC TIME]で設定した秒数の約4倍のスローモーション映像として記録されます。  
[Recording...]が消えると記録が完了します。

解除するにはMENUボタンを押す。

#### ●ご注意

- 音声は記録されません。
- [SMTH SLW REC]の設定は、本機の電源を入れなおすと自動的に解除されます。
- シャッタースピードを1/250未満に設定していても自動で1/250に設定されます。
- 録画時間は条件により設定した時間より短くなることがあります。
- 通常撮影時より画質は劣化します。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

## CNTRST ENHCR

[ON]にすると、逆光シーンなどコントラストが高い画像を検出して、画像の黒つぶれを自動で軽減します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

### 🔔ご注意

- [BACK LIGHT]を[ON]にすると、設定が一時的に解除されます。

## PROG. SCAN

垂直解像度1,080本のプログレッシブ動画を撮影できます。

### ▶ OFF

#### 24(24pSCAN)

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

#### 24A(24pSCAN)

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。HDV規格で記録する時は記録開始毎に60i変換の位相をリセットします。

#### 30(30pSCAN)


CM撮影などと同じ1秒間30コマの動画を撮影する。

### 🔔ご注意

- 撮影した画像は60iに変換して記録されます。
- [24A]でHDV規格で記録するとタイムコードが正しくつながりません。  
また、再生時、場面と場面の間が一瞬止まりますが、i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎパソコンに動画を取り込むと、通常の動画として扱うことができます。
- DVCAM/DV規格で記録する時は[24A]を選んでも[24]と同じ動作になります。

## STEADYSHOT

### ■ ON/OFF

お買い上げ時の設定は[ON]のため、手ぶれ補正を使って撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[OFF]()にすると自然な画像になります。

### ■ TYPE

撮影状況に合わせて手ぶれ補正の効果を選ぶことができます。

#### HARD

強めに手ぶれ補正を働かせる。パン・ティルト撮影には向きません。

#### ▶ STANDARD

通常の手ぶれ補正を使う。

#### SOFT

自然な手ぶれ感を残しつつ、手ぶれ補正を働かせる。

#### WIDE CONV.

ワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使って撮影する。ソニー製のVCL-HG0862Kワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使うときに最適な設定です。

## COLOR BAR

### ■ ON/OFF

[ON]にするとカラーバーを表示したり、テープに記録することができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

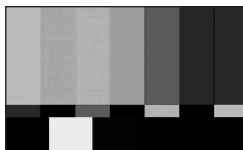
### 🔔ご注意

- 本機の電源を入れなおすと自動的に[OFF]になります。

### ■ TYPE

カラーバーのタイプを選べます。

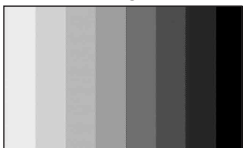
TYPE1



TYPE2



TYPE3



## ■ TONE


[ON/OFF]を[ON]に設定して、[TONE]を[ON]に設定すると、音声トーン信号(1kHz:フルビット -20dB)を出力します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

## AF ASSIST

[ON]に設定すると、オートフォーカスのとき、フォーカスリングを回して一時的に手動でピントを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

## FOCUS MACRO

お買い上げ時の設定は[ON]なので、80cm以内の被写体にもフォーカスを合わせることができます。

[OFF]()に設定すると、80cmより近い被写体にはフォーカスが合わなくなりますが、ズーム位置によらずフォーカス位置を細かく決めることができます。

## AE SHIFT

SEL/PUSH EXEC ダイアルで明るさを-7(暗い)~+7(明るい)の範囲で調節できます。お買い上げの設定以外にすると、**AS**と設定した数値が表示されます。

### ❗ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインの全てを手動調節していると効果はありません。
- ハイパーゲイン設定時は効果がありません。

## AE RESPONSE

被写体の明るさに追従して露出を自動調整する速度を選びます。[FAST]、[MIDDLE]、[SLOW]から選びます(お買い上げ時は[FAST])。

## AGC LIMIT

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を[OFF](18dB、お買い上げ時の設定)、[12dB]、[6dB]、[0dB]から選べます。

### ❗ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

## AT IRIS LMT

アイリス設定が自動のとき、絞りの上限値を[F11](お買い上げ時の設定)、[F5.6]、[F4]から選ぶことができます。

### ❗ご注意

- アイリスを手動調節していると効果はありません。

## ATW SENS

白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源下や、屋外の日陰など青みの強い光源下でのオートホワイトバランスの動作を設定できます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

## ▶ INTELLIGENT

シーンの明るさに応じて自然な雰囲気になるように自動調節する。

### HIGH

赤みや青みが減る。

### MIDDLE

### LOW

赤みや青みが増す。

#### ⓘ ご注意

- ホワイトバランスが自動調節されているときのみ有効です。
- 晴天時の日向では効果がありません。

## FLCKR REDUCE

### ▶ ON

通常の撮影時に選びます。電源周波数が50Hzの蛍光灯などの光源下で画面のちらつきを軽減します。

### OFF

フリッカーを低減したくないときに選びます。

#### ⓘ ご注意

- 照明によっては低減効果が現れないことがあります。

## HANDLE ZOOM

ハンドルズーム切換スイッチのズームスピードを設定できます。

### ■ H

ハンドルズーム切換えスイッチの[H]のズームスピードを1(遅い)～8(速い)から選べます(お買い上げ時の設定は6)。

### ■ L

ハンドルズーム切換えスイッチの[L]のズームスピードを1(遅い)～8(速い)から選べます(お買い上げ時の設定は3)。

## SHOT TRANS

ショットトランジションの[TRANS TIME]と[TRANS CURVE]、[START TIMER]、[REC LINK]を設定するときに選びます。ショットトランジションの操作方法については40ページをご覧ください。

### ■ TRANS TIME

遷移時間を[3.5sec]～[15.0sec]から選びます(お買い上げ時は[4.0sec])。

### ■ TRANS CURVE

遷移カーブを選びます。

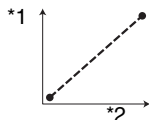
各モードのトランジションカーブは図のように遷移します。

\* 1:パラメーター量

\* 2:時間の遷移

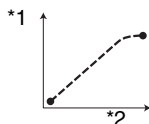
#### LINEAR

直線的に遷移したいときに選びます。



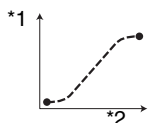
### ▶ SOFT STOP

終了地点付近をゆっくり遷移したいときに選びます。



### SOFT TRANS

開始と終了地点付近はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移したいときに選びます。



### ●ご注意

- ショットトランジション登録/確認/実行中は[TRANS TIME]、[TRANS CURVE]の設定変更はできません。ASSIGNボタン1を繰り返し押し、ショットトランジションの設定を解除してから設定変更してください。

## ■ START TIMER

ショットトランジションを開始するタイマーを設定します。

開始までの間隔を[5sec]、[10sec]、[20sec]から選べます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

## ■ REC LINK

### ▶ OFF

録画開始と同時に遷移させない。

### SHOT-A

録画開始と同時にSHOT-Aに遷移させる。

### SHOT-B

録画開始と同時にSHOT-Bに遷移させる。

## INTERVAL REC

一定時間ごとにテープへ画像を録画します。雲の動きや日照変化などを観察するとき便利です。再生するとなめらかに見えます。長時間撮影時は、ACアダプター/チャージャーから電源をとってください。



- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[ON/OFF] → [ON] を選ぶ。
- ② 1回の録画時間をお買い上げ時の設定([0.5sec])から変更する場合は以下の手順を行う。変更しない場合は、③に進む。  
SEL/PUSH EXECダイヤルで[REC TIME] → [0.5sec]、[1sec]、[1.5sec]、[2sec]から録画時間を選ぶ。

- ③ インターバル時間をお買い上げ時の設定([30sec])から変更する場合は以下の手順を行う。変更しない場合は、④に進む。  
SEL/PUSH EXECダイヤルで[INTERVAL] → [30sec]、[1min]、[5min]、[10min]からインターバル時間を選ぶ。

- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。

- ⑤ MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

- ⑥ REC START/STOP ボタンを押す。  
インターバル録画が始まる。

中止するにはREC START/STOPボタンを押す。

REC START/STOPボタンを押すタイミングによって、以下のように動作します。インターバルレック録画中に押したときは、インターバル録画を一時停止します。もう1度押すと、インターバル録画が始まります。

インターバルレックのインターバル中に押したときは、インターバルレックは停止し通常の録画が始まります。もう1度押すと通常録画が中止され、さらにもう1度押すとインターバル録画が始まります。

解除するにはSEL/PUSH EXECダイヤルで[ON/OFF] → [OFF]を選ぶ。

### ●ご注意

- 録画時間とインターバル時間は、それぞれの設定時間と若干の誤差が生じることがあります。
- 手動でピントを合わせておくと、光が変化してもぼやけずに撮影できます。
- 撮影時の効果音は[BEEP]で消すことができます(80ページ)。

## DV FRAME REC DVCAM DV Ⅱ

本機を固定した状態で人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをする、アニメーションのような効果を出せます。リモコンを使うと手ぶれを防げます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

## ▶OFF

通常の撮影をする。

## ON()


コマ撮りする。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して[ON]を選び、押して決定する。
- ② MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。
- ③ REC START/STOPボタンを押す。1コマ(約 6 フレーム)分を撮影し、スタンバイに戻ります。
- ④ 被写体を動かし、手順 3 を繰り返す。

### ⚠ご注意

- 連続してコマ撮りをすると、テープ残量は正しく表示されません。
- 最終カットは通常の1コマよりも長くなります。
- コマ撮り中にはインデックスは打ち込めません。
- 本機の電源を入れなおすと自動的に「OFF」になります。


## BACK LIGHT

[ON]に設定すると、が表示されて逆光補正されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

### ⚠ご注意

- 逆光補正中に[SPOT LIGHT]を[ON]にすると逆光補正は解除されます。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち、2つ以上を手動調節していると逆光補正の効果はありません。


## SPOTLIGHT

[ON]()に設定すると、舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防げます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

### ⚠ご注意

- スポットライト中に[BACK LIGHT]を[ON]に設定すると、スポットライトは解除されません。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、スポットライトは使えません。

## HYPER GAIN

[ON]()に設定すると、ゲインの設定を約36dBに上げることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。


### ⚠ご注意

- ハイパーゲイン使用中は、以下の機能は動きません。
  - [BACK LIGHT]
  - [SPOT LIGHT]
- ハイパーゲイン使用中は、ノイズにより画質が劣化します。
- 電源を入れなおすと、自動的に[OFF](お買い上げ時の設定)に戻ります。

### 💡ちょっと一言

- 手動フォーカスでのご使用をおすすめします。

## D.EXTENDER

[ON]()に設定すると、約1.5倍に画像を拡大表示します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥などの遠方の被写体を拡大するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

### ⚠ご注意

- 本機の電源を入れなおすと自動的に「OFF」になります。

## FADER

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

- ① スタンバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)にしたい効果を選ぶ。

② REC START/STOPボタンを押す。

フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには①で[OFF]を選ぶ。

1度REC START/STOPボタンを押すと、設定は解除されます。



## WHITE FADER



## BLACK FADER



### ⓘ ご注意

- 本機の電源を入れなおすと[FADER]は自動的に解除されます。

# ♪(AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定(DV AU. MODE/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。  
( )内の表示が画面に出ます。

操作方法は52ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH  
EXEC ダイアルで、♪ (AUDIO SET)  
を選択すると表示されます。

## DV AU. MODE DVCAM DV Ⅱ

### ▶ FS32K(32k)

12ビットモード(4チャンネルの音声)で  
DVCAM/DV SP記録するときに選びま  
す。

### FS48K(48k)

16ビットモード(高音質で2チャンネルの  
音声)でDVCAM/DV SP記録するときに  
選びます。

#### ⚡ご注意

- HDV規格のときは、自動的に[FS48K]で記録  
されます。

## MIC NR

お買い上げ時は[ON]に設定されている  
ので、マイクから入るノイズを低減できま  
す。

## XLR SET

### ■ AU. MAN GAIN

外部マイク使用時のチャンネル1、2のオー  
ディオレベルの連動/非連動を切り替えます。

#### ▶ SEPARATE

オーディオレベル非連動にしたいとき  
(チャンネル1、2を別々の音声として記  
録したいとき)。

#### LINKED

オーディオレベル連動にしたいとき

(チャンネル1、2をステレオのように1組  
の音声として記録したいとき)。  
ステータスチェック画面で **Ⓛ** が表示され  
ます。

#### ⚡ご注意

- マイクのCH1、CH2両方のAUTO/MANス  
イッチがMANのときのみ有効です(37ペー  
ジ)。
- [LINKED]設定時は、CH1のAUDIO LEVEL  
ダイアルで音量調節できます(37ページ)。
- INPUT1端子の音声入力をCH1とCH2に同時  
記録する際、[SEPARATE]に設定しても、  
CH1、CH2別々にオーディオレベルを変更す  
ることはできません。

### ■ INPUT1 LEVEL

INPUT1端子から外部入力する際のマイク/  
ラインを切り換えます。

#### ▶ MIC

INPUT1端子から外部マイクの音声を入  
力するときに選びます。  
ステータスチェック画面で **MIC** が表示  
されます。

#### LINE

INPUT1端子からオーディオ機器の音声  
を入力するときに選びます。ステータス  
チェック画面で **LINE** が表示されます。

### ■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときに、入力信号  
のレベルを調節します。[INPUT1 LEVEL]が  
[MIC]のときのみ有効です。  
[0dB]、[-8dB]、[-16dB]から選びます(お  
買い上げ時の設定は[0dB])。

### ■ INPUT1 WIND

[INPUT1 LEVEL]が[MIC]のときのみ有効  
です。

#### ▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしないときに  
選びます

#### ON

INPUT1端子の風音低減をするときに選  
びます。ステータスチェック画面で  
**Ⓜ** が表示されます。



## ■ INPUT2 LEVEL

INPUT2端子から外部入力する際のマイク/ラインを切り換えます。

### ▶ MIC

INPUT2端子から外部マイクの音声を入力するときに選びます。

ステータスチェック画面で **MIC** が表示されます

### LINE

INPUT2端子からオーディオ機器の音声を入力するときに選びます。ステータスチェック画面で **LINE** が表示されます。

## ■ INPUT2 TRIM

INPUT2端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。[INPUT2 LEVEL]が[MIC]のときのみに有効です。

[0dB]、[-8dB]、[-16dB]から選びます(お買い上げ時の設定は[0dB])。


## ■ INPUT2 WIND

[INPUT2 LEVEL]が[MIC]のときのみに有効です。

### ▶ OFF

INPUT2端子の風音低減をしないときに選びます。

### ON

INPUT2端子の風音低減をするときに選びます。ステータスチェック画面で  が表示されます。

### 💡ちよつと言

- INPUT TRIM機能は外部マイク入力のレベルを調節します。  
感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。

- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

## AUDIO CH SEL

### ▶ CH1, CH2

CH1、CH2の音をそれぞれのチャンネルで再生する。

### CH1

CH1の音をチャンネル1/2で再生する。

### CH2

CH2の音をチャンネル1/2で再生する。

### 💡ちよつと言

- [CH1, CH2]を選択して、本機のスピーカーで再生した場合は、CH1+CH2の音になります。

## DV AUDIO MIX

他機でアフレコや4CHマイク録音したテープの音声を再生時に確認できます。アフレコしたテープの再生時に、出力される音声を選びます。

### ▶ CH1, CH2

撮影時の音声(CH1、CH2)のみを出力するときに選びます。

### MIX

撮影時の音声(CH1、CH2)とアフレコ音声(CH3、CH4)を合成して出力するときに選びます。

### CH3, CH4

アフレコした音声(CH3、CH4)のみを出力するときに選びます。

# □ (DISPLAY SET) メニュー

画面/ファインダーの表示設定  
(MARKER/VF B. LIGHT/DATA CODE  
など)

▶は、お買い上げ時の設定。  
( )内の表示が画面に出ます。

**操作方法は52ページをご覧ください。**

MENUボタンを押す→SEL/PUSH  
EXEC ダイアルで、□ (DISPLAY  
SET)を選択すると表示されます。

## PEAKING

### ■ ON/OFF

[ON]に設定すると、画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります(お買い上げ時の設定は[OFF])。

### ■ COLOR

ピーキングの色を[WHITE]、[RED]、  
[YELLOW]から選べます(お買い上げ時の設定は[WHITE])。

### ■ LEVEL

ピーキング感度を[HIGH]、[MIDDLE]、  
[LOW]から選べます(お買い上げ時の設定は[MIDDLE])。

### 🔍ご注意

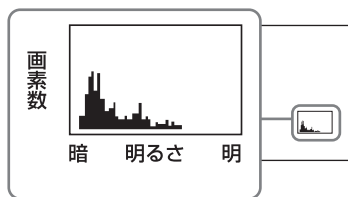
- 輪郭強調された画像はテープに記録されません。

### 💡ちょっと一言

- 拡大フォーカス(29ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。

## HISTOGRAM

[ON]に設定すると、ヒストグラム(画像の明るさの分布を表した図(グラフ))が表示されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ヒストグラムを見ながら、明るさ/アイリスを調節できます(57ページ)。テープや“メモリースティック デュオ”にヒストグラムは記録されません。



### 💡ちょっと一言

- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。
- ZEBRAを「70」または「100」に設定すると、ヒストグラム上にガイドが表示されます(31ページ)。

## MARKER

[ON/OFF]を[ON]に設定すると、[CENTER]、[ASPECT]、[SAFETY ZONE]、[GUIDEFAME] マーカーを表示できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

### ■ ON/OFF

[ON]にするとマーカーが表示されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。マーカーは記録されません。

### ■ CENTER

[ON]にすると画面の中心にマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[ON])。



## ■ ASPECT

[4:3]、[13:9]、[14:9]、[15:9]から選んだアスペクト比位置にマーカを表示する(お買い上げ時の設定は[OFF])。



## ■ SAFETY ZONE

[80%]または[90%]を選ぶと、一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマーカを表示する(お買い上げ時の設定は[OFF])。



## ■ GUIDEFRAME

[ON]に設定すると、フレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる(お買い上げ時の設定は[OFF])。



### ⚠ご注意

- マーカ表示中はアナログ端子から画面表示を出力することはできません。
- [14:9]、[15:9]、[90%]は、[ALLSCAN MODE]が[ON]のときのみ表示されます。
- [DATE REC]が[ON]のときは、マーカ表示できません。

### 💡ちょっと一言

- すべてのマーカを同時に表示できます。
- GUIDEFRAMEの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- マーカ表示は、LCD/パネルとファインダーのみに表示されます(外部に出力することはできません)。

## EXP.FOCUS TYPE

拡大フォーカスの表示方法を設定できます。

### ▶ TYPE 1

画像をそのまま拡大する。

### TYPE 2

画像を白黒にして拡大する。

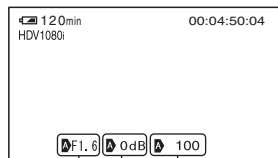
## ALLSCAN MODE

[ON]に設定すると、簡易全画面表示となり、テレビなどでは確認できない画面の周辺部を確認できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

簡易全画面表示中は、画面の周りが黒く表示されます。[OFF]に設定すると、元の画面に戻ります。

## CAM DATA DSP

[ON]にするとアイリス、シャッター、ゲインの値を常に表示します(お買い上げ時の設定は[OFF])。




アイリス値

ゲイン値

シャッタースピード

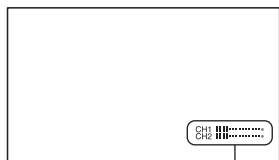
### 💡ちょっと一言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
- は自動設定されていることを示します。
- [DATA CODE]を[CAMERA DATA]に設定したときに表示される項目とは異なります(69ページ)。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

## AU. LVL DISP

お買い上げ時は[ON]のため、画面にオーディオレベルメーターが表示されます。



オーディオレベルメーター

## ZOOM DISPLAY

### ▶BAR

ズーム位置をバーで表示する。

### NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

## FOCUS DISP

マニュアルフォーカス時の焦点距離の表示方法を変更できます。

### ▶METER

フォーカスをメートルで表示する。

### FEET

フォーカスをフィートで表示する。

## SHUTTER DISP

シャッタースピードの表示方法を変更できます。

### ▶SECOND

シャッタースピードを秒で表示する。

### DEGREE

撮像素子から読み出す周期と同じスピードを360°として表示する。

— [PROG. SCAN]が[OFF]時: 1/60で360°

— [PROG. SCAN]が[24]、[24A]設定時:  
1/24で360°

— [PROG. SCAN]が[30]設定時: 1/30で360°

### 🔍で注意

- [DATA CODE]の[CAMERA DATA]表示のシャッタースピードは、この設定にかかわらず秒表示となります。

### 💡ちょっと一言

- 360°より長いシャッタースピードの場合は、360°の整数倍(360°×2など)で表示します。

## LCD BRIGHT

SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、液晶画面の明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

### 💡ちょっと一言

- 液晶画面バックライトを消すこともできます(17ページ)。

## LCD COLOR

SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、液晶画面の濃さを調節できます。録画される画像に影響はありません。

## LCD BL LEVEL

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

### ▶NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

### BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

### 🔍で注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

## VF B. LIGHT

ファインダーの明るさを調節できます。

### ► NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

### BRIGHT

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

#### ❗ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

## VF COLOR

### ► ON

ビューファインダーをカラーで表示させる。

### OFF

ビューファインダーを白黒で表示させる。

## VF POWERMODE

### ► AUTO

液晶画面を閉じたときと対面撮影時に、ファインダーが点灯する。

### ON

常にファインダーが点灯する。

## DATA CODE

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

### ► OFF

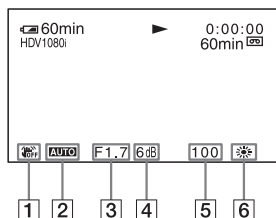
日時やカメラデータを表示しない。

## DATE

日付、時刻を表示。

## CAMERA DATA

カメラデータを表示。



#### ① 手ぶれ補正

#### ② 明るさ調節

アイリス/ゲイン/シャッタースピードを自動調節で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。

#### ③ アイリス

手動でアイリスを最大にしておく、アイリスの場所に**CLOSE**と表示されます。

#### ④ ゲイン


#### ⑤ シャッタースピード

#### ⑥ ホワイトバランス

ショットトランジション撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。

#### ❗ご注意

- “メモリースティック デュオ”の静止画再生時は、露出補正值(0EV)とシャッタースピード、アイリスが表示されます。
- [DATE]のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[-- -- --]と[--:--:--]が表示されます。
- 本機で撮影したテープを異なる機器で再生し、カメラデータを表示させた際に、正しいシャッタースピード情報が表示されないことがあります。正しいシャッタースピードの情報は本機にてご確認ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

## LETTER SIZE

### ▶ NORMAL

通常の大きさでメニュー表示する。

### 2x

選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。

## REMAINING

### ▶ AUTO

次のときにテープ残量を約8秒間表示する。

- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「VCR」か「CAMERA」にしたとき
- ▶ (再生) ボタンまたはDISPLAY/BATT INFOボタンを押したとき

### ON

テープ残量を常に表示する。

## DISP OUTPUT

### ▶ LCD PANEL

タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

### V-OUT/PANEL

画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

## ⇄ (IN/OUT REC)

### メニュー

録画、入出力に関する設定(VCR HDV/  
DV/DV REC MODE/DV WIDE REC/  
DOWN CONVERTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。  
( )内の表示が画面に出ます。

**操作方法は52ページをご覧ください。**

MENUボタンを押す→SEL/PUSH  
EXEC ダイアルで、⇄ (IN/OUT REC)  
を選択すると表示されます。

## REC FORMAT

撮影する録画規格を選択できます。

### ▶ HDV1080i(HDV1080i)

HDV規格の1080i方式で撮影する。

### DV(DVCAM DV 型)

DVCAM(DV)規格で撮影する。

DVCAM(DV)規格で撮影するときは、  
[DV REC MODE]も設定する。

#### ●ご注意

- 撮影中の画像をi.LINK出力するときは、  
[i.LINK CONV] (72ページ)もあわせて設定  
してください。

## VCR HDV/DV

再生するときの信号を選びます。通常は  
[AUTO]に設定してください。

i.LINKケーブル接続時は、i.HDV/DV端子  
(i.LINK)から入力/出力する信号を選びま  
す。ここで選択した信号をテープに記録/  
再生します。

### ▶ AUTO

テープ再生時、自動でHDV/DV規格の信  
号を切り換えて、再生する。

i.LINK接続時は、自動でHDV/  
DVCAM(DV)規格の信号に切り換えて、  
i.HDV/DV端子(i.LINK)から入出力し  
て、記録/再生する。

### HDV(HDV1080i)

テープ再生時、HDV規格で記録された部  
分のみ再生する。

i.LINK接続時はHDV規格の信号のみを  
i.HDV/DV端子(i.LINK)から入出力し  
て、記録/再生する。また、パソコンなど  
と接続するときに選ぶ。

### DV(DV)

テープ再生時、DVCAM (DV) 規格で記録  
された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はDVCAM (DV) 規格の信  
号のみを i.HDV/DV端子(i.LINK)から入  
出力して、記録/再生する。また、パソコン  
などと接続するときに選ぶ。

#### ●ご注意

- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜い  
てください。つないだまま設定を変えると、ビ  
デオ機器が映像信号を正しく認識できないこ  
とがあります。
- [AUTO]を選ぶと、HDVとDVCAM(DV)の信  
号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像  
と音声が続切れず。
- [i.LINK CONV]が[ON]になっているときは、  
次の信号が出力されます。
  - [AUTO]のときは、HDV信号は  
DVCAM(DV)に変換され、DVCAM(DV)信  
号はそのまま出力されます。
  - [HDV]のときは、HDV信号はDVCAM(DV)  
に変換され、DVCAM(DV)信号の部分は出  
力されません。
  - [DV]のときは、DVCAM(DV)信号はそのま  
ま出力され、HDV信号の部分は出力されま  
せん。

## DV REC MODE DVCAM DV 型

[REC FORMAT]が[DV]のときのみの有効  
です。

### ▶ DVCAM(DVCAM)

DVCAM方式で録画する。

### DV SP(DV 型)

DV方式のSP(標準)モードで録画する。  
DVCAM方式に比べ、長時間録画する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (IN/OUT REC)を選択すると表示されます。

#### ❗注意

- DV SPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が入り切れたりすることがあります。
- テープの途中でDVCAMとDV SPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

### DV WIDE REC

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

#### ▶ON

ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

#### OFF

4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

#### ❗注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[DOWN CONVERT]を正しく設定してください(73ページ)。
- HDV規格で録画する場合は、画像サイズは16:9に固定され、4:3にできません。

### EXT REC CTRL

本機とHDV/DVCAM/DV対応の機器(デジタルHDビデオカメラレコーダーやデジタルビデオカメラレコーダー、ハードディスクレコーダーなど)をi.LINKケーブルでつなぎ、本機と他機で同時に撮影したり、本機から他機へ連続して撮影することができます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### ■ REC CTL MODE

#### ▶OFF

他機で録画を行わない。

#### SYNCHRONOUS

本機の録画操作に連動して、他機側でも同時に映像、音声、タイムコードを記録する。

#### RELAY

本機で撮影中のテープが終了近くになったら、他機で映像、音声、タイムコードを続けて記録する。

### ■ STBY COMMAND

#### ▶REC PAUSE

本機の録画停止操作で、他機をREC PAUSE状態にして録画停止する。

#### STOP

本機の録画停止操作で、他機をSTOP状態にして録画停止する。

### COMPONENT

コンポーネント端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

#### 480i

480iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

#### ▶1080i/480i

1080iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

### i.LINK CONV

#### ■ ON/OFF

[ON]に設定すると、HDV規格の信号をDV規格に変換して、HDV/DV端子(i.LINK)から出力します。DV規格の信号は、そのままDV規格で出力されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。



## ■ DOWN CONVERT

[ON]に設定した場合のHDV規格の映像信号出力形式を設定します。

### ▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

### EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

#### 🔔ご注意

- i.LINK入力については、[VCR HDV/DV]をご覧ください(71ページ)。
- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

## DOWN CONVERT

HDV規格の映像信号出力形式を設定します。

以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480i出力)
- S VIDEO出力
- AUDIO/VIDEO出力

### ▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

### LETTER BOX

垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。

### EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

#### 🔔ご注意

- [DV WIDE REC]を[ON]にしてDVCAM(DV)規格で撮影したテープを4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[DV WIDE REC]を[OFF]にして撮影してください。

## 00:00 (TC/UB SET)

### メニュー

(TC PRESET/UB PRESET/TC LINK など)

▶は、お買い上げ時の設定。  
( )内の表示が画面に出ます。

**操作方法は52ページをご覧ください。**

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

## TC PRESET

### ■ PRESET

タイムコードをプリセットします。

- ① SEL/PUSH EXECダイアルを回して[TC PRESET]を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。  
タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定します。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して[OK]を選び、押して決定する。

### ■ RESET

タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

PRESETの手順①で[RESET]を選ぶ。

## UB PRESET

### ■ PRESET

ユーザービットをプリセットします。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して[UB PRESET]を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。

- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して[OK]を選び、押して決定する。

### ■ RESET

ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

PRESETの手順①で[RESET]を選ぶ。

## TC FORMAT

タイムコードの記録方式を選びます。

### ▶ AUTO

タイムコードの記録方式を、すでにテープに記録されている方式に自動的に合わせる。

### DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

### NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

### 🔍ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

## TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

### ▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進します。つなぎ撮りをしたテープの上のタイムコードに連続して記録する。

## FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進します。  
タイムコードを実時間に合わせる。

## TC MAKE

### ▶ REGENERATE

つなぎ撮り中に、テープに記録させたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。[TC RUN]の設定に関わらず、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進します。

### PRESET

新たに設定したタイムコードをテープに記録する。

## TC LINK

複数のHVR-V1Jのタイムコードを同期させることができます。

複数のカメラで撮影する時にタイムコードを同期させておくと、編集などで便利になります。

- ① タイムコードを発生させるカメラ(親機)と、親機のタイムコードに合わせるカメラ(子機)を決める。親機にはテープを入れておく。
- ② 親機、子機共に POWER スイッチを「CAMERA」にする。
- ③ 親機と子機を i.LINK ケーブルで接続する。
- ④ 親機、子機共、以下のメニュー設定を行う。
  - [TC RUN]を[FREE RUN]に設定(74ページ)。
  - [TC MAKE]を[PRESET]に設定(75ページ)。
  - [TC FORMAT]を親機、子機ともに同じ設定にする(74ページ)。

～以下、子機側の動作～

- ⑤ [TC/UB SET]→[TC LINK]を選択する。
- ⑥ [Synchronize TC with connected device?]のメッセージが表示されるの

で、[YES]を選ぶと子機のタイムコードが親機に同期する。

同期が完了したら、i.LINK ケーブルを抜く。

同期したタイムコードで撮影できます。

### ●ご注意

- 3台以上で[TC LINK]する場合は、1台の親機から複数台の子機に上記手順を繰り返してください。
- タイムコードをあわせた後、時間経過に伴い数フレーム程度ずれることがあります。
- 電源を入れ直す回数が多いタイムコードがずれることがあります。  
電源を入れ直したあとは、再度[TC LINK]を実行することをおすすめします。

## TC/UB DISP

タイムコードとユーザービットの表示を切り換えます。

### ▶ TC

タイムコードを表示する。  
(00:00:00:00)

### U-BIT

ユーザービットを表示する。  
(00 00 00 00)

## UB TIME REC

### ▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

### ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。


# MEMORY SET

## メニュー

“メモリースティック デュオ”に関する  
設定(QUALITY/ALL ERASEなど)

▶は、お買い上げ時の設定。  
( )内の表示が画面に出ます。

操作方法は52ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH  
EXEC ダイアルで、 (MEMORY  
SET)を選択すると表示されます。

### QUALITY





#### ▶ FINE(FINE)

高画質で記録する。

#### STANDARD(STD)

標準の画質で記録する。

“メモリースティック デュオ”の容量  
(MB)と撮影可能枚数(枚)

	1.2M 1440× 810 	0.9M 1080× 810 	VGA 640× 480 	0.2M 640× 360 
16MB	25 60	34 80	96 240	115 240
32MB	51 120	69 160	190 485	240 485
64MB	100 240	135 325	390 980	490 980
128MB	205 490	280 650	780 1970	980 1970
256MB	370 890	500 1150	1400 3550	1750 3550
512MB	760 1800	1000 2400	2850 7200	3600 7200
1GB	1550 3650	2100 4900	5900 14500	7300 14500
2GB	3150 7500	4300 10000	12000 30000	15000 30000
4GB	6300 14500	8500 19500	23500 59000	29500 59000

上段は画質が[FINE]のとき

下段は画質が[STANDARD]のとき

\* 撮影時:画像サイズは撮影画像が HDV 規格、  
または DVCAM (DV) 規格(16:9)のときは  
1.2M、DVCAM (DV) 規格(4:3)のときは  
0.9Mに固定されます。  
再生時:再生画像が HDV 規格のときは 1.2M、  
DVCAM (DV) 規格(16:9)のときは 0.2M、  
DVCAM (DV) 規格(4:3)のときは VGA  
(0.3M)に固定されます。

#### ⓘ ご注意

- ソニー製“メモリースティック デュオ”使用  
時。枚数は、撮影環境によって変わります。

### 画像1枚のおよその容量(kB)

1.2M	0.9M	VGA	0.2M
600	450	150	130
260	190	60	60

上段は画質が[FINE]のとき

下段は画質が[STANDARD]のとき

### ALL ERASE

プロテクトのかかっている“メモリース  
ティック デュオ”内または選択フォルダ  
内の全画像を消します。

- ① [ALL FILES]か[CURRENT FLDR]を選  
ぶ。

[ALL FILES]: “メモリースティック

デュオ”内のすべての画像を消去。

[CURRENT FLDR]: 選択しているフォル  
ダ内のすべての画像を消去。


- ② SEL/PUSH EXECダイアルで

[YES]→[YES]を選ぶ。

[ Erasing all data...]と表示される。

プロテクトのかかっているすべての画  
像が消去されると、「Completed.」と表示  
される。


### ⚠ご注意

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(115ページ)。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- [ Erasing all data...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - POWERスイッチ/ボタン操作
  - “メモリースティック デュオ”の取り出し

## FORMAT

“メモリースティック デュオ”はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。フォーマットを実行するには[YES]→[YES]の順に選ぶ。

### ⚠ご注意

- [ Formatting...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - POWERスイッチ/ボタン操作
  - “メモリースティック デュオ”の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

## FILE NO.

### ► SERIES

“メモリースティック デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

### RESET

“メモリースティック デュオ”ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

## NEW FOLDER

[YES]を選ぶと“メモリースティック デュオ”内に、新フォルダ(102MSDCF～999MSDCFまで)を作成できます。1つのフォルダが9,999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

### ⚠ご注意

- 1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。“メモリースティック デュオ”をフォーマットするか(77ページ)、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、“メモリースティック デュオ”の残量が減ることもあります。

## REC FOLDER

SEL/PUSH EXEC ダイアルで記録するフォルダを選んでSEL/PUSH EXEC ダイアルを押す。

### 🔍ちょっと一言

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

## PB FOLDER

SEL/PUSH EXEC ダイアルで再生するフォルダを選んでSEL/PUSH EXEC ダイアルを押す。


## ■ (OTHERS) メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定  
(USB SELECT/QUICK REC/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

( )内の表示が画面に出ます。

操作方法は52ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH  
EXEC ダイアルで、 (OTHERS)を選  
択すると表示されます。

### CAMERA PROF.

カメラの設定内容をカメラプロフィール  
として“メモリースティック デュオ”に  
20個まで、本機内に2つまで保存できま  
す。保存した設定を使って適切なセット  
アップ状態をすばやく再現できます。  
また、本機を複数台同じ設定で使いたい  
場合は、“メモリースティック デュオ”に  
設定値を保存して、他のカメラで保存した  
設定値を読み出すことができます。

💡ちょっと一言

- カメラプロフィールで保存される項目はメ  
ニュー、ピクチャープロフィール、ボタンなど  
の設定値です。これらの設定値をまとめてカメ  
ラプロフィールに保存します。

#### ■ カメラプロフィールを保存する

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[SAVE]を  
選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで、“メモ  
リースティック デュオ”に保存する場  
合は [MEMORY STICK]、本機内に保存す  
る場合は [CAMERA] を選ぶ。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルで [NEW  
FILE]、または既存のプロファイルを選  
ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアルで、確認画面  
で [YES] を選ぶ。  
カメラプロフィールが保存されます。

💡ちょっと一言

- [MEMORY STICK]で[NEW FILE]を選んだ  
場合、プロフィール名は[MS01](初めて保存す  
る場合)になります。
- [CAMERA]で[NEW FILE]を選んだ場合、プ  
ロファイル名は[CAM1]または[CAM2]にな  
ります。
- 既存のカメラプロフィールを保存先に選んだ  
場合は上書き保存されます。
- “メモリースティック デュオ”に保存した設  
定はパソコンで閲覧、編集できません。
- 静止画撮影した“メモリースティック デュ  
オ”に設定値を保存できます。
- カメラに保存したカメラプロフィールを読み  
出してから、“メモリースティック デュオ”に  
保存することで、カメラプロフィールをコピー  
できます。

#### ■ プロファイル名を変える

保存したカメラプロフィールの名前を変えら  
れます。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで  
[PROFILE NAME] を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで名前を変  
えるカメラプロフィールを選ぶ。  
プロフィール名画面になる。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルで名前を入  
力する。

💡ちょっと一言

- 名前の入力方法はピクチャープロフィール  
の名前の設定方法と同じです(36ページ)。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアルで[OK]を選  
び、押して決定する。  
プロフィール名が変更されます。

#### ■ カメラプロフィールを読み込む

カメラプロフィールを読み込んで、設定を実  
行します。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで [LOAD]  
を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで読み込む  
カメラプロフィールを選ぶ。

- ③ 確認画面で [YES] を選択する。  
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロファイルが反映される。

📌ご注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロファイルやパソコンなどで編集したカメラプロファイルは読み込めません。

## ■ カメラプロファイルを削除する

- SEL/PUSH EXEC ダイアルで [DELETE] を選ぶ。
- SEL/PUSH EXEC ダイアルで削除するカメラプロファイルを選ぶ。
- 確認画面で [YES] を選択する。

## ASSIGN BTN

38ページをご覧ください。

## PHOTO/EXP.FOCUS

PHOTO/EXPANDED FOCUSボタンに割り当てる機能を選びます(24ページ)。

### ▶ PHOTO

静止画を記録します(24ページ)。

### EXP.FOCUS

EXPANDED FOCUSボタン(29ページ)と同じ機能のボタンになります。

📌ご注意

- [EXP.FOCUS] を選択した場合、静止画の記録は本体のボタンでは出来なくなります。リモコンのPHOTOボタンをご使用ください。

## CLOCK SET

19ページをご覧ください。

## WORLD TIME

海外で使うときは、SEL/PUSH EXEC ダイアルで時差を設定し、現地時刻に合わせる。時差を0に設定すると元の設定に戻ります。

## LANGUAGE

### 日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

### ▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

### ENG (SIMP)

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

## USB SELECT

USBケーブルで本機とパソコンをつないで、パソコンで“メモリースティック デュオ”内の画像をみたり(90ページ)、PictBridge対応のプリンターと接続したりする(88ページ)ときに使います。

### ▶ Memory Stick

“メモリースティック デュオ”に記録した画像をパソコンで見たり、パソコンに取り込むときに選択します。

### PictBridge PRINT


本機とPictBridge対応のプリンターを直接つないで、プリントするときに選択します(88ページ)。

## PB ZOOM

[ON]に設定すると、再生中の動画を約1.1～5倍(静止画は約1.5～5倍)の範囲で拡大表示できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。倍率はズームレバーで調節します。終了するには、ズームレバーをW側にします。

### 📌ちょっと一言

- 再生ズーム中に、SEL/PUSH EXEC ダイアルを押してから回すと、左右にズーム位置を変更できます。SEL/PUSH EXEC ダイアルをもう一度押してから回すと、上下にズーム位置を変更できます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

## QUICK REC HDV1080i

[ON]に設定すると、POWERスイッチが「OFF(CHG)」の状態から録画を再開するときに、撮影開始までの時間を少し短縮することができます。

### ▶ OFF

撮影開始までの時間は少しかかるが、つなぎめがきれいに撮れる。

### ON()

POWERスイッチが「OFF(CHG)」の状態からの撮影開始時間を短縮できる。録画チャンスを逃したくないときに選ぶ。

### ちょっと一言

- [ON]にすると、場面と場面の間が一瞬止まります。(パソコンでの編集をおすすめします。)
- 撮影スタンバイの状態が約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。録画を再開するには、もう1度REC START/STOPボタンを押してください。

## DATE REC

### ▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

### ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

### ちょっと一言

- [DV WIDE REC]を[OFF]にしている場合、日付表示は4:3エリア外にはみ出して表示されますが、記録される日付映像には影響ありません。
- HDV規格で記録する場合、日付時刻は撮影時と再生時でずれた位置に表示されます。

## BEEP

### ▶ ON

撮影スタート/ストップ時の操作時などにメロディが鳴る。

### OFF

操作音を出さない。

## REC LAMP

[OFF]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

## REMOTE CTRL

お買い上げ時の設定は[ON]のため、付属のワイヤレスリモコン(134ページ)が使えます。

### ちょっと一言

- [OFF]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

## HOURS METER

本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、画面に表示します。

### OPERATION

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。

### DRUM RUN

ヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示する。

### TAPE RUN

テープが走行している時間を累計して、10時間単位で表示する。

### THREADING

カセットを出し入れした回数を累計して、10回単位で表示する。




# 他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする

電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。  
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## 接続する

ビデオ、DVD/HDD機器の種類や接続する端子によって、接続方法や取り込まれる画質が異なります。

 : 信号の流れ

本機の端子	必要なケーブル	接続する端子	接続する機器
②	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	HDV1080i方式対応機器 →HD画質*1
②	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	i.LINK端子付きのAV機器 →SD画質*1
①	S映像ケーブル付きの AV接続ケーブル(別売り)	S(S1,S2)ビデオ (赤) 音声 (白) 映像 (黄)	S(S1,S2)映像端子付きのAV機器 →SD画質*1
①	AV接続ケーブル(付属)	(赤) 音声 (白) 映像 (黄)	映像、音声端子付きのAV機器*2 →SD画質*1

\*1 DVCAM (DV) 規格で撮影した画像は、どの接続でもSD(標準)画質でダビングされます。

\*2 モノラル(ひとつの音声入力)の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。

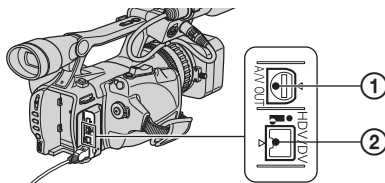
### ⚠️ご注意

- HDMIケーブルを使っているダビングはできません。

## 他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする(つづき)

### 本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



### i.LINKケーブル(別売り)でつなぐときは

ダビングされる画像の規格(HDVまたはDV)は、撮影した画像や相手機器が対応している規格によって異なります。下記の表でダビングしたい規格を選び、必要なメニュー設定を行ってください。

#### ⓘご注意

- メニュー設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。つないでから設定を変えると、ビデオ/DVD機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

#### 💡ちょっと一言

- 本機のi.LINK端子は4ピンです。接続する機器側の端子は、接続する機器に合わせてください。

ダビングしたい規格	本機で撮影した画像の規格	相手機器の対応規格		メニュー設定	
		HDV規格*1	DVCAM (DV) 規格	[VCR HDV/DV] (71ページ)	[i.LINK CONV] (72ページ)
HDV画像をHDVでダビング	HDV	HDV	—*3		[OFF]
HDV画像をDVCAM (DV) に変換してダビング	HDV	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON]
DV画像をDVCAM (DV) でダビング	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)		[OFF]
HDV規格とDVCAM (DV) 規格が混在したテープのときは					
HDV、DVCAM (DV) どちらもDVCAM (DV) に変換してダビング	HDV/DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON]
HDV規格で撮影した部分のみダビング	HDV	HDV	—*3		
	DVCAM (DV)	—*2	—*3	[HDV]	[OFF]
DVCAM (DV) 規格で撮影した部分のみダビング	HDV	—*2	—*2		
	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[DV]	[OFF]

\*1 HDV1080i方式に対応している機器です。

- \*2 無記録部分としてダビングします(画像、音声は記録されません)。
- \*3 画像を認識できません(無記録状態になります)。

●ご注意

- [VCR HDV/DV]が[AUTO]のときは、HDVとDVCAM(DV)の信号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像と音声が続切れず。
- 録画側にHVR-V1Jを使用する場合は、[VCR HDV/DV]を[AUTO]にしてください(71ページ)。
- 再生側と録画側の両方にHVR-V1JなどのHDV1080i方式対応機器を使用して、i.LINKケーブルで接続したときは、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- AV接続ケーブルでつなぐときは、[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL](お買い上げ時の設定)にしてください(70ページ)。

## S(S1、S2)端子付きのAV接続ケーブル(別売り)でつなぐときは

映像プラグ(黄色)のかわりにS(S1、S2)映像端子を接続してください。AV接続ケーブルでの接続に比べ、画像をより忠実に再現できます。DVCAM(DV)方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は出力されません。

## ダビングする

### 1 本機(再生側)の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。  
POWERスイッチを「VCR」にする。

再生機器(テレビなど)に合わせて、  
[DOWN CONVERT]を設定してください(73ページ)。

### 2 ビデオ(録画側)の準備をする。

ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力」(ビデオ1、ビデオ2入力など)にする。

### 3 本機とビデオ/DVD機器などをつなぐ。

接続について詳しくは、81ページをご覧ください。

### 4 本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器などで録画する。


詳しくは、ビデオ/DVD機器などの取扱説明書をご覧ください。

### 5 ダビングが終わったら、ビデオ/DVD機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。



●ご注意

- i.LINK端子(i.LINK)接続では、次のものは録画されません。
  - 画面表示
  - 他機で付けたタイトル

## ビデオの画像を本機で録画する

- HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や変速再生している画像は、 HDV/DV端子 (i.LINK) から出力されません。
- i.LINKケーブル接続時は、次のことにご注意ください。
  - ー 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。
  - ー ご使用する機器やアプリケーションなどによっては日時やカメラデータが表示、記録されないことがあります。
  - ー 映像または音声のみを記録することはできません。
- i.LINKケーブルで接続してダビングするとき、DVDレコーダー側から本機の操作が可能と説明されている機器でも操作ができない場合があります。DVDレコーダーの入力モードを「HDV」または「DV」に切り換えるなどして映像の入出力が可能となるときは、「他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする」の手順でダビングしてください。

### ちょっと一言

- AV接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください。
- i.LINKケーブル接続時は、デジタル信号でやりとりをするので画質・音質の劣化がほとんどありません。
- i.LINKケーブル接続時は、出力される信号の規格 (HDVout  または DVout ) が本機の液晶画面に表示されます。

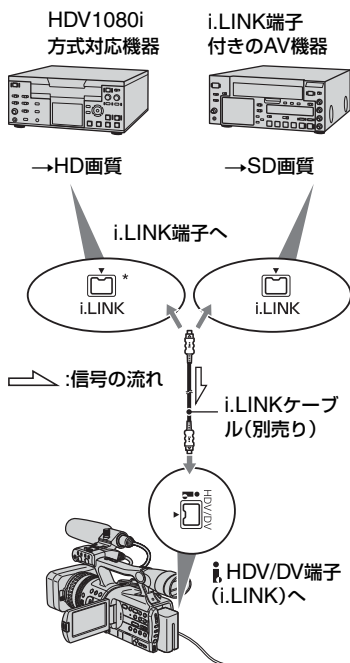
ビデオの画像を本機のテープや“メモリースティック デュオ”に録画できます。“メモリースティック デュオ”には静止画として記録できます。

HDV1080i方式対応機器をつなぐと、HDV規格のまま録画できます。

あらかじめ、本機に録画用テープまたは“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。本機とビデオをi.LINKケーブルでつなぎます。本機の電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(12ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### ご注意

- この操作にはi.LINKケーブルが必要です。
- AV接続ケーブルでこの操作はできません。
- 本機のi.LINK端子は4ピンです。接続するビデオ機器の端子は、接続する機器に合わせて選んでください。



\* HDV1080i 方式の i.LINK 端子が必要です。

## 動画を録画する

### 1 本機のPOWERスイッチを「VCR」にする。

### 2 本機の入力信号を設定する。

HDV対応機器から録画するときには  
[VCR HDV/DV]を[AUTO]にする。  
DV対応機器から録画するときには  
[VCR HDV/DV]を[DV]または  
[AUTO]にする(71ページ)。

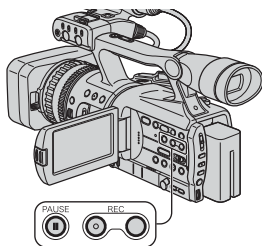
### 3 ビデオを再生機としてつなぐ。

i.LINKケーブル接続時は、入力される信号の規格(**HDV** **i.LINK** または **DV** **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。(再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。)

### 4 ビデオにダビングするカセットを入れる。

### 5 本機を録画一時停止にする。

■(PAUSE)ボタンを押したまま、●(REC)ボタンを2つ同時に押す。



### 6 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

### 7 録画を開始したい画面でもう一度

■(PAUSE)ボタンを押して、録画を始める。

### 8 ■(STOP)ボタンを押して、録画を止める。

#### ●で注意

- テレ放送などの番組を、HDV/DV端子(i.LINK)から録画することはできません。
- DVCAM(DV)機器からi.LINK経由でダビングするときは、ユーザービットは記録されません。

## ビデオの画像を本機で録画する(つづき)

- DVCAM (DV)機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。
- 接続時は、次のことにご注意ください。
  - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
  - 映像または音声のみを記録することはできません。
  - 録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。

### 🔔ちょっと一言

- 4:3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒く表示されます。

## 静止画を記録する

あらかじめ、本機に“メモリースティック デュオ”を入れておいてください(22ページ)。

また、[PHOTO/EXP.FOCUS]を[PHOTO](お買い上げ時の設定)に設定してください(79ページ)。

## 1 「動画を録画する」の手順1~4を行う。

## 2 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

## 3 記録したい場面でPHOTO/EXPANDED FOCUSボタンを押す。

### 🔔ご注意

- 記録元の動画がHDV規格のとき、画像サイズは1.2Mになります。再生している画像がDVCAM (DV) 規格でワイド(16:9)のとき、画像サイズは0.2Mに、4:3のときはVGA(0.3M)になります。

## テープに録画した動画を“メモリースティック デュオ”に静止画として記録する

静止画を“メモリースティック デュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。

また、[PHOTO/EXP.FOCUS]を[PHOTO](お買い上げ時の設定)に設定してください(79ページ)。

## 1 POWERスイッチを「VCR」にする。

## 2 場面を探して、取り込む。

- ▶ (再生)を押してテープを再生し、取り込む場面でPHOTO/EXPANDED FOCUSボタンを押す。

### 🔔ご注意

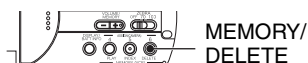
- テープに記録された日時と“メモリースティック デュオ”に取り込んだときの日時が記録されます。本機ではテープに記録されたときの日時が表示されます。テープに記録されたカメラデータは記録できません。
- 再生している画像がHDV規格のとき、画像サイズは1.2Mになります。再生している画像がDVCAM (DV) 規格でワイド(16:9)のとき、画像サイズは0.2Mに、4:3のときはVGA(0.3M)になります。
- [PB ZOOM]を使用中は、記録できません(79ページ)。

# “メモリースティック デュオ”の画像を消す

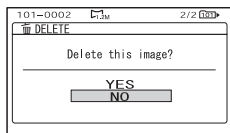
**1** POWERスイッチを「VCR」にする。

**2** 消去したい画像を再生する。(26ページ)

**3** MEMORY/DELETEボタンを押す。



[Delete this image?]と表示される。



**4** SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、  
[YES]を選び、押して決定する。  
画像が消去される。

**ⓘ** ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。

**ⓘ** ご注意

- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止になっているとき(115ページ)やプロテクトされている画像(98ページ)は削除できません。

**💡** ちょっと一言

- インデックス表示している画像を消すには、VOLUME/MEMORYボタンで▶マークを削除したい画像に移動してから手順3と4を行ってください。
- すべての画像を消去するには、メニューの[☐ ALL ERASE] (76ページ)で削除します。

# 撮影した静止画を印刷する (PictBridge 対応プリンター)


PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコン無しで印刷できます。

## PictBridge

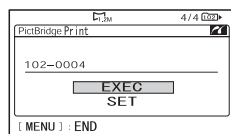
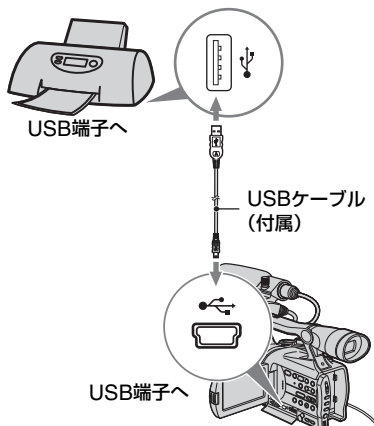
本機と別売りのACアダプターを使って、電源はコンセントから取ってください。あらかじめ、本機に静止画を記録した“メモリースティック デュオ”を本機に入れて、プリンターの電源を入れてください。

### 本機とプリンターを接続する

**1** 本機のPOWERスイッチを「VCR」にする。

**2** MENUボタンを押し、SEL/PUSH EXEC ダイヤルで  (OTHERS)メニューで →[USB SELECT]→ [PictBridge PRINT]の順に選ぶ。

### 3 USBケーブルで本機のUSB端子とプリンターをつなぐ



“メモリースティック デュオ”に記録されている画像が表示される。

### 印刷する

**1** VOLUME/MEMORYボタンで印刷する画像を選ぶ。

**2** 必要な場合は印刷部数を設定する。

印刷部数を設定しない場合は手順3に進む(印刷部数は1部に自動設定されます)。



- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[SET] →[COPIES] を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルをまわして印刷部数を設定し、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルをまわして [ ↻ RETURN ] を選び、押して決定する。  
PictBridge 実行／設定画面に戻る。

💡ちよつと言

- 印刷部数は最大20枚まで設定できます。

### 3 日時を入れて印刷する場合は以下の設定をする。

日時を入れない場合は手順4に進む。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[SET] →[DATE/TIME]→[DATE] または [DAY&TIME] を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルをまわして [ ↻ RETURN ] を選び、押して決定する。

PictBridge実行／設定画面に戻る。

### 4 SEL/PUSH EXEC ダイアルで [EXEC]→[YES]の順に選ぶ。

印刷が完了すると[Printing...]の表示が消え、画像選択画面に戻る。


印刷終了後、MENUボタンを押す。

- プリンターが動作しなくなった場合は、USB ケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。

💡ちよつと言

- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

#### ⚠ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は動作保証いたしません。
- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- プリンターと接続中(画面に  が表示中)に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - POWERスイッチを切り換える。
  - プリンターからUSBケーブルを抜く。
  - 本機から“メモリースティック デュオ”を抜く。

## パソコンと接続する

本機とパソコンを接続して、次の操作を行うことができます。

“メモリスティック デュオ”の静止画  
を取り込む

→90ページ

テープの動画をHVD規格で取り込む

→93ページ

テープの動画をDVCAM (DV) 規格で  
取り込む

→93ページ

### 接続について

本機とパソコンをつなぐには、次の2つの方法があります。

ーUSBケーブルでつなぐ

“メモリスティック デュオ”の画像を取り込むとき

ーi.LINKケーブルでつなぐ

テープの画像を取り込むとき

### パソコン接続時のご注意

- USBケーブルやi.LINKケーブルなどで本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- 次の操作はできません。
  - ーUSBケーブルで接続してテープの画像をパソコンに取り込む。
  - ーi.LINKケーブルで接続して“メモリスティック デュオ”の画像をパソコンに取り込む。
- USBケーブルをパソコンから外すときは、正しい手順で操作してください(92ページ)。

## 静止画をパソコンに取り込む

### パソコン環境について

#### Windowsをお使いの場合

- 対応OS:Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional/Windows Vista\*

\*64bit版は除きます。

上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

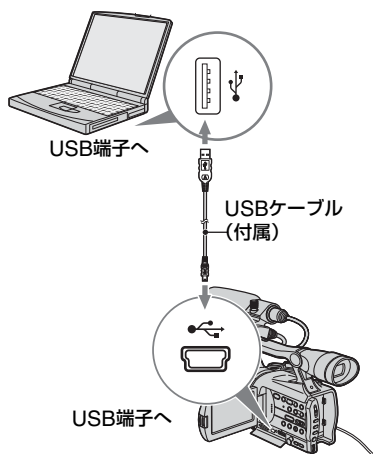
- CPU:MMX Pentium 200MHz以上
- その他必要な装置:USB端子標準装備

#### Macintoshをお使いの場合

- 対応OS:Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3/v10.4)
- その他必要な装置:USB端子標準装備

### 操作1:USBケーブルでつなぐ

- パソコンの標準ドライバで動作するので、ソフトウェアのインストールは不要です。
- パソコンにメモリスティック スロットがある場合は、画像を保存した“メモリスティック デュオ”をメモリスティック デュオ アダプター(別売り)に入れてから、パソコンのメモリスティック スロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- “メモリスティック PRO デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリスティック PRO デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリスティック スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。



- この段階では、まだ本機とパソコンをつながないでください。
- 本機の電源を入れる前に、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐと、本機がパソコンに認識されない場合があります。
- 推奨するつなぎかたについては93ページをご覧ください。

## 1 パソコンの電源を入れる。

使用中のアプリケーションは、終了させておいてください。

Windows 2000/ Windows XP/  
Windows Vistaをお使いの場合  
Administrator権限・コンピューターの  
管理者でログオンしてください。

## 2 本機に“メモリースティック デュオ”を入れる。

## 3 本機の電源を準備する。

電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。

## 4 本機のPOWERスイッチを「VCR」にする。

## 5 MENUボタンを押す。 メニューインデックス画面が表示される。

## 6 SEL/PUSH EXEC ダイヤルで [OTHERS]→[USB SELECT]→[Memory Stick]の順に選ぶ。

## 7 USBケーブルで本機のUSB 端子とパソコンをつなぐ。

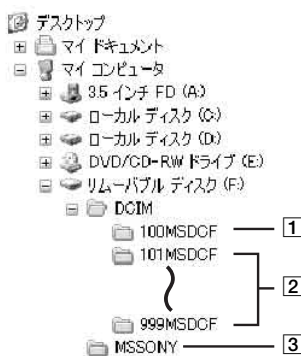
初回はパソコンが本機を認識するのに時間がかかることがあります。

### 操作2：画像を取り込む

#### Windowsパソコンのとき

[マイコンピュータ]内に表示される[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックし、フォルダ内の画像をパソコンのハードディスクへコピーする。

## 静止画をパソコンに取り込む(つづき)



- ① フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した静止画が入っているフォルダ(再生のみ可能)
- ② 本機の画像フォルダ(新しくフォルダを作成していない場合は[101MSDCF]のみ)
- ③ フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した動画が入っているフォルダ(再生のみ可能)

フォルダ名	ファイル名	意味
101MSDCF	DSC0□□	静止画
(~999MSDCF)	□□.JPG	ファイル

ファイル名の□□□□には、0001~9999までの数字が入ります。

### Macintoshのとき

ドライブアイコンをダブルクリックし、取り込みたい画像ファイルをパソコンのハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップする。

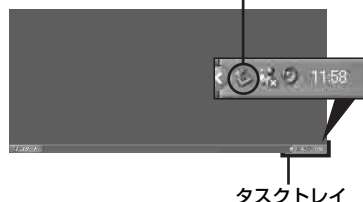
## USBケーブルを外す

### Windowsパソコンのとき

本機の液晶画面に[USB CONNECTING]と表示されたときは、次のようにUSBケーブルを外してください。

- ① 画面右下にあるタスクトレイの中の、[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする。

このアイコンをクリックする。



- ② [USB 大容量記憶装置デバイスドライバを安全に取り外します(停止します)]をクリックする。



- ③ [OK]をクリックする。
- ④ 本機とパソコンから USB ケーブルを外す。

本機の液晶画面に[USB CONNECTING]と表示されていないときは、手順④のみ行ってください。

### ⑤ ご注意

- 正しい手順でUSBケーブルを外さないと、「メモリースティック デュオ」内のファイルが正常に更新されない場合があります。また「メモリースティック デュオ」の故障の原因になります。

# テープの動画をパソコンに取り込む

## Macintoshのとき

- ① 使用中のアプリケーションを終了させる。
- ② パソコンの画面にあるドライブアイコンを[ゴミ箱]にドラッグ&ドロップする。
- ③ 本機とパソコンから USB ケーブルを外す。

### ⚠️ ご注意

- Mac OS Xをお使いの場合は、パソコンの電源を切ってから、USBケーブルを外し、本機から「メモリースティック デュオ」を取り出してください。
- 本機のアクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機の電源を切るときは、本機からUSBケーブルを外してから切ってください。

## 推奨するつなぎかた

本機を正しく動作させるためには、次のようにつないでください。

- パソコンのUSB端子に、USBケーブルで本機をつなぎ、他のUSB端子には何もつながない。
- USBキーボードとマウスが標準でついているパソコンの場合、キーボードをUSB端子につないだ状態で、本機をUSBケーブルで別のUSB端子につなぐ。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器をつないだ場合の動作は保証していません。
- USBケーブルは、必ずパソコンのUSB端子につないでください。キーボードやUSBハブなどを経由してつないでいる場合の動作は保証していません。
- パソコンのUSB端子にUSBケーブルがつかないことを確認してください。
- 推奨環境のすべてのパソコンについての動作を保証するものではありません。

i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎ、編集ソフト(別売り)を使って動画を取り込むことができます。

お手持ちのパソコンにi.LINK端子が装備されていて、ビデオ信号の取り込みができる編集ソフトウェアがインストールされている必要があります。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDVまたはDVCAM (DV))によって、必要なソフトウェアが次の通り異なります。

撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	必要なソフトウェア
HDV	HDV	HDV規格の信号取り込み可能な編集ソフト
HDV	DVCAM (DV)	DVCAM (DV) 規格の信号取り込み可能な編集ソフト
DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV) 規格の信号取り込み可能な編集ソフト

### ⚠️ ご注意

- USBケーブルを使って動画を取り込むことはできません。
- 画像の取り込み方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。
- パソコンの推奨環境については、お使いになるソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 使用するパソコンのソフトウェアによっては、正しく働かない場合があります。
- DVCAM (DV) 規格→HDV規格に変換はできません。  
撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDV規格またはDVCAM (DV) 規格)によって、必要なメニュー設定が異なります。

## テープの動画をパソコンに取り込む(つづき)

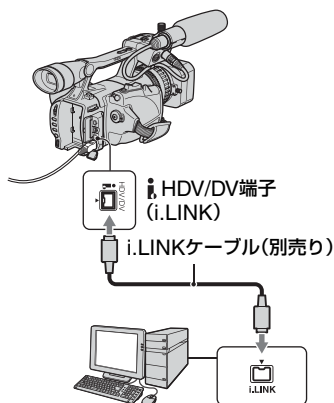
撮影画像 の規格	パソコンに 取り込む規 格	メニュー設定*
HDV	HDV	[VCR HDV/DV] →[HDV] [i.LINK CONVERT] →[OFF]
HDV	DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] →[HDV] [i.LINK CONVERT] →[ON]
DVCA M (DV)	DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] →[DV] [i.LINK CONVERT] →[OFF]

\*メニュー設定については、52 ページをご覧ください。

### 💡ちょっと一言

- HDV規格の画像をそのまま取り込むには、HDV規格に対応した環境が必要になります。詳しくは各ソフトウェアの取扱説明書、もしくはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 一般的なDVDプレーヤーで再生できるようにするためには、SD画質でDVDビデオを作成する必要があります。この場合、作成されたDVDはHDV規格ではありません。

## 操作:1 i.LINKケーブルにつなぐ



### パソコン接続時のご注意

- i.LINKケーブルは先にパソコンとつないでから、本機とつないでください。先に本機とつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- 次の場合、パソコンが本機を正しく認識できなかったり、パソコンがハングアップしたりすることがあります。
  - － 本機の画面上に表示されている規格 (HDV または DVCAM (DV)) の信号が扱えないパソコンに入出力する。
  - － i.LINKケーブル接続中に、[VCR HDV/DV] (71ページ) と [i.LINK CONV] (72ページ) の設定を変える。
  - － POWERスイッチが「CAMERA」でi.LINKケーブル接続中に、[REC FORMAT] (71ページ) の設定を変える。
  - － i.LINKケーブル接続中に、本機のPOWERスイッチを切り換える。
- i.LINKケーブル接続時は、本機の画面に入出力信号の規格 (HDV または DVCAM または (DV)) が表示されます。

## 操作:2 動画を取り込む

本機の電源は別売りのACアダプターを使ってください。

- ① 編集ソフトウェア(編集ソフトウェアは付属していません)を用意する。

💡ちょっと一言

- ソフトウェアの仕様や特徴、最新情報に関しては、各社の公式サイト等をご確認ください。
- ② パソコンの電源を入れる。
  - ③ 本機にテープを入れ、POWERスイッチを[VCR]にする。
  - ④ 本機のメニューを設定する。  
撮影画像や取り込まれる規格によってメニュー設定が異なります(52 ページ)。
  - ⑤ パソコンのソフトウェアを操作して動画を取り込む。

📌ご注意

- HDV規格に取り込みをおこなっても認識しない場合は編集ソフトウェアがHDV規格に対応していない可能性がありますので手順4でDVCAM(DV)規格へ変換して取り込みを行ってください。
- DVCAM(DV)規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むことはできません。

💡ちょっと一言

- HDV規格で記録した画像データをパソコンに取り込んだ際のファイルの容量は、映像圧縮方式をMPEG2のまま変換せずに取り込んだ場合、10分の映像で、約2GBです。(DVCAM(DV) ファイルとほぼ同じです。)

## パソコンから本機にHDV規格で取り込むには

[VCR HDV/DV]を[HDV]に、[i.LINK CONN]を[OFF]にする(71、72ページ)。

📌ご注意

- パソコンで編集したHDV規格の映像を、テープへHDV規格で書き戻すには、お使いの編集ソフトウェアがHDV規格映像のテープへの書き出しに対応していれば可能です。詳しくは各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

## パソコンから本機にDVCAM(DV)規格で取り込むには

[VCR HDV/DV]を[DV]にする(71ページ)。

## 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて・・・96ページ
- カセット/メモリスティック デュオ<sup>®</sup>について・・・98ページ
- 撮影について・・・99ページ
- 再生について・・・101ページ
- テレビ接続について・・・103ページ
- ダビング、編集、外部機器接続について・・・104ページ
- パソコン接続について・・・104ページ

### 電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(12ページ)。
- ACアダプター/チャージャーをコンセントに差し込む(12ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(132ページ)を先のとがったもので押す。

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

バッテリーの充電中、CHARGEランプが点灯しない。

- ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする(13ページ)。
- POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする(12ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(12ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(12ページ)。

バッテリーの充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります(14ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(12ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。



---

### バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(12、117ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

---

### バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(12、117ページ)。

---

### 液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたため、故障ではありません。

---

### ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(17ページ)。

---

### ファインダーの画像が消えている。

- [VF POWER MODE]を[AUTO]にしていると、液晶パネルを開いている間はファインダーは消灯します(69ページ)。

---

### 付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CTRL]を[ON]にする(80ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(134ページ)。

---

### リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

### カセット/メモリースティック デュオ”について

カセットが取り出せない。

- 電源 (バッテリーやACアダプター) が正しく接続されているか確認する (12ページ)。
- 本機が結露しかけている (119ページ)。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、 REMAINING] を [ON] にする (70ページ)。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

“メモリースティック デュオ”の画像消去、フォーマットができない。

- 誤消去防止スイッチのある “メモリースティック デュオ” は、誤消去防止を解除する (115ページ)。
- プロテクトが設定されている。パソコンなどでプロテクトを解除する。

## 撮影について

### REC START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- POWERスイッチを「CAMERA」にする(23ページ)。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる(112ページ)。
- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す(119ページ)。

### ハンドルズームが働かない。

- ハンドルズーム切換スイッチを「H」または「L」にする(27ページ)

### “メモリスティック デュオ”に撮影できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリスティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(115ページ)。
- メモリー容量いっぱいの場合は、不要な画像を消す(87ページ)。
- 本機で“メモリスティック デュオ”をフォーマットし直すか(77ページ)、別の“メモリスティック デュオ”を入れる(22ページ)。
- 次の設定のときは“メモリスティック デュオ”に静止画を記録できません。
  - [FADER] 実行中。
  - [SMTH SLW REC]
  - シャッタースピードが1/60より遅い設定のとき。
  - ショットトランジション確認/実行時。
  - [PROG. SCAN]の設定が[24]、[24A]または[30]のとき。
- [PHOTO/EXP.FOCUS]を[PHOTO]に設定する(79ページ)。

### テープできれいにつなぎ撮りできない。

- エンドサーチする(40ページ)。
- カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
- 同じテープにHDV規格とDVCAM (DV) 規格の映像を混在させない。
- 同じテープにDVCAMとDV SPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。**DVCAM DV SP**
- [QUICK REC]が[ON]のときは、きれいにつなぎ撮りできません(80ページ)。**HDV1080i**

### 静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [BEEP]を[ON]にする(80ページ)
- 動画撮影中はシャッター音は出ません。

### エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない(21ページ)。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
- テープの始めや途中に無記録部分があるため、故障ではありません。

## 故障かな？と思ったら(つづき)

### オートフォーカスができない。

- FOCUSボタンを押して自動調節にする(28ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(28ページ)。

### メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下のとき
[BACK LIGHT]	[EXPOSURE1]、[EXPOSURE2]の手動設定中、アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上が手動設定
[SPOTLIGHT]	[EXPOSURE1]、[EXPOSURE2]の手動設定中、アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上が手動設定
[AE SHIFT]	[EXPOSURE1]、[EXPOSURE2]の手動設定中、アイリス、ゲイン、シャッタースピードがすべて手動設定
[EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]	[SMTH SLW REC]、[INTERVAL REC]、[DV FRAME REC]のいずれかが[ON]のとき
[CNTRST ENHCR]	[BACK LIGHT]設定中
[D. EXTENDER]	[SMTH SLW REC]中、[PROG. SCAN]が[24]、[24A]、[30]のとき
[SMTH SLW REC]	[COLOR BAR]表示中、[PROG. SCAN]が[24]、[24A]、[30]のとき
[INTERVAL REC]	[PROG. SCAN]が[24]、[24A]、[30]のとき
[HISTOGRAM]	[DATE REC]中、[COLOR BAR]表示中
[MARKER]	[DATE REC]中
[CAMERA PROF.]	撮影・再生中、テープ走行中
[ALLSCAN MODE]	[DATE REC]が[ON]のとき
[DATE REC]	[ALLSCAN MODE]が[ON]のとき

### シャッタースピード、ゲイン、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO LOCKスイッチを中央(オートロック解除位置)にする。

### 画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(32ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

### 画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

---

画面が白すぎて画像が見えない。

- [BACK LIGHT]を解除する(62ページ)。

---

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAY/BATT INFOボタンを数秒間押したままにして、バックライトを点灯する(17ページ)。

---

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(32ページ)。

---

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを変えることで改善することがあります(32ページ)。

---

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [SHARPNESS]で「0」側に調整する(35ページ)。

## 再生について

「カセット」メモリスティック デュオ」について」(98ページ)もご覧ください。

---

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「VCR」にする。
- テープを巻き戻す(25ページ)。

---

“メモリスティック デュオ”の画像データが正しく再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(116ページ)。
- 他機で撮影した画像は、正しく再生できないことがあります。故障ではありません。

---

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(115ページ)。
- ディレクトリー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

---

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(120ページ)。

## 故障かな？と思ったら(つづき)

---

他機で4CHマイク記録した音声が届かない。**DVCAM DV 並**

- [DV AUDIO MIX]を設定する(65ページ)。

---

音声が届かない。または届かない。

- 音量を大きくする(26ページ)。
- [DV AUDIO MIX]を設定する(65ページ)。
- なめらかスロー録画で記録した箇所には音声が記録されません。

---

画像や音声が途切れる。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM (DV) 規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

---

画像が一瞬静止画になる、音声が途切れる。

- テープやビデオヘッドに付着物があるときに起こる症状です(120ページ)。
- ソニー製のミニDVカセットを使用する。

---

[――]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカメラデータを読めません。

---

ノイズが現れ、画面上に**PAL** または **50i** と表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム(NTSC)と違うため(110ページ)。故障ではありません。

---

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付を変更したときは、2分以上撮影する。撮影時間が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。

---

エンドサーチ、レックレビュー、ラストシーンレビューのときに画像が出ない。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM (DV) 規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

---

他機でアフレコした音声が届かない。**DVCAM DV 並**

- [DV AUDIO MIX]を[CH1, CH2](オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで調節する(65ページ)。

画面上に J4ch-12b が表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

## テレビ接続について

i.LINKケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 接続するテレビのi.LINK端子がHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質で見ることはできません(46ページ)。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した映像をダウンコンバートしてDV(SD画質)で再生する(73ページ)。
- 他の接続ケーブルで接続して再生する(46ページ)。

S映像プラグ、またはDコンポーネントビデオケーブルでつないで再生するとき、音が出ない。

- S映像プラグまたはD端子コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(46ページ)。

D端子コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 接続する機器に合わせて[COMPONENT]を正しく設定する(72ページ)。
- D端子コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ(46ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM(DV)規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(93ページ)を出力することはできません。
- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたときに起こる症状で、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直す。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象で、[DOWN CONVERT]を設定して再生する(73ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象で故障ではありません。

## 故障かな？と思ったら(つづき)

### ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- AV接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(70ページ)。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。  
AV接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

ダビング編集、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない。

- 接続する機器に合わせて[VCR HDV/DV]を正しく設定する(71ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってダビングができない。

- HDMIケーブルを使っているダビングはできません。

テープから“メモリースティック デュオ”へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープは、録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

i.LINKケーブルを使ってワイド(16:9)で撮影した映像をダビングすると画面が縦に伸びる。

- i.LINKケーブルからアスペクト比の設定は出力できません。テレビ側で設定する。
- A/V接続ケーブルを使って接続する。

### パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。[USB] [i.LINK]


- パソコンと本機からケーブルを抜き、もう1度しっかりと差し込む。
- キーボード、マウス以外で、パソコンの⚡(USB)端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。



### テープの動画がパソコンで見られない、取り込めない。[i.LINK]

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。
- 動画はUSBケーブルでは取り込めないため、i.LINKケーブルでつなぐ。
- テープの動画をパソコンに取り込むには編集ソフトウェア(別売り)が必要です(93ページ)。

### “メモリースティック デュオ”の画像がパソコンで見られない、取り込めない。[USB]

- “メモリースティック デュオ”の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- i.LINKケーブルでは取り込めないため、USBケーブルでつなぐ。
- 本機のPOWERスイッチを「VCR」にして[USB SELECT]を[ Memory Stick]にする(79ページ)。
- テープ再生中や編集中等、本機を操作していると“メモリースティック デュオ”はパソコンに認識されません。本機の手続きを終了してから、もう1度パソコンとつなぐ。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。

### パソコンがハングアップする。

- 接続する機器に合わせて、[VCR HDV/DV]を正しく設定する(71ページ)。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ(90ページ)。

### ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズにインストールされているソフトウェア「DVgate」を使ってDVCAM (DV) 規格の画像の編集をしようとすると、本機を認識しない。

- 「DVgate/DVgate Motion/DVgate Still」のバージョンが  
DVgate Ver.2.2.00/01  
DVgate Ver.2.1.xx  
DVgate Ver.2.0.xx  
DVgate Motion Ver.1.4.xx/DVgate Still Ver.1.2.xx  
に該当する場合は、本機との接続について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。  
ハンディカムホームページ「サポート&修理」  
<http://www.sony.co.jp/cam/support/>

### ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズにインストールされているソフトウェア「DVgate Plus Ver.1.3」を使ってHDV規格で撮影した画像の編集ができない。

- 「DVgate Plus Ver.1.3.XX」を「DVgate Plus Ver.2.0」にアップグレードする必要があります。詳しくは下記のホームページをご覧ください。  
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

# 警告表示とお知らせメッセージ

## 自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

### C:(またはE:)□□:□□ (自己診断表示)

#### C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(117ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(12ページ)。

#### C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

#### C:21:□□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す(119ページ)。

#### C:22:□□

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(120ページ)。

#### C:31:□□/C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください(119ページ)。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- カセットを交換する。RESETボタン(132ページ)を押してからもう1度操作し直す。

#### E:61:□□/E:62:□□/E:92:□□

- 修理が必要なため、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

### 101-1001(ファイル関連の警告)

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル(115ページ)。

### ⚡(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

### ☞(結露の警告)\*

- カセットを取り出し、電源を外して、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する(119ページ)。

### 💾(“メモリースティック デュオ”関連の警告)

- “メモリースティック デュオ”が入っていない(22ページ)。

### 💾(“メモリースティック デュオ”フォーマット関連の警告)\*

- “メモリースティック デュオ”が壊れている。
- “メモリースティック デュオ”が正しくフォーマットされていない(77、115ページ)。

### 💾(非対応“メモリースティック デュオ”関連の警告)\*

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた(115ページ)。

## △⬆ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

## ⬆ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが低温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを暖かいところに置く。

## ⌂ (テープ関連の警告)

### 遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。\*
- カセットが誤消去防止状態になっている(112ページ)。\*

### 速い点滅

- テープが終わっている。\*

## ▲ (テープを取り出す必要がある警告)\*

### 遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている(112ページ)。

### 速い点滅

- 結露している(119ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(106ページ)。

## ⌂ (メモリスティックデュオ誤消去防止に関する警告)\*

- “メモリスティックデュオ”が誤消去防止状態になっている(115ページ)。

## お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

### ■ バッテリー/電源

Use the “InfoLITHIUM” battery pack. (“インフォリチウム”バッテリーを使ってください)(117ページ)

### ■ 結露

⬆▲Moisture condensation. Eject the cassette.(⬆▲結露しています カセットを取り出してください)(119ページ)

⬆Moisture condensation. Turn off for 1H.(⬆結露しています 約1時間放置してください)(119ページ)

### ■ カセット/テープ

▲Reinsert the cassette.(▲カセットを入れなおしてください)(21ページ)

- テープの損傷などがないかも確認する。

⌂▲The tape is locked - check the tab. (⌂▲カセットの誤消去防止ツマミを確認してください)(112ページ)

Cannot record due to copyright protection.(コピープロテクトされています 記録できません)(111ページ)

\* 警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(80ページ)。

### ■ “メモリースティック デュオ”

⚠ Incompatible type of Memory Stick. (⚠ 非対応のメモリースティックです)

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っている(115ページ)。

Protected file.

Cannot delete.

(プロテクトされています 削除できません)

- パソコンなどでプロテクトを解除する。

⚠ Reinsert the Memory Stick. (⚠ メモリースティックを入れなおしてください)(22、115ページ)

- “メモリースティック デュオ”を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック デュオ”が壊れている可能性があるので交換する。

⚠ This Memory Stick is not formatted correctly. (⚠ このメモリースティックはフォーマットが違います)

- “メモリースティック デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする(77、115ページ)。

Memory Stick folders are full. (メモリースティックのフォルダがいっぱいです)

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか(77ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

Cannot record still images on Memory Stick. (メモリースティックに静止画記録できない状態です)

- 以下の時は静止画記録できません。
  - シャッタースピードが1/60以下のとき
  - フェーダー中
  - なめらかスロー録画中
  - ショットトランジション確認、実行中
  - [PROG. SCAN]が[24]、[24A]、[30]に設定中

### ■ PictBridge対応プリンター

Check the connected device. (接続先を確認してください)

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

Error. Cancel the task. (異常が確認されました 中止してください)

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

## ■ その他

---

Change to correct tape format. (非対応のフォーマットです)



- 対応していないフォーマットのため、再生できません。

---

No output image in "VCR HDV/DV". Change format. (この"ビデオ HDV/DV"設定では表示できない信号です。表示するには設定を変更してください。)

- 再生や信号入力を停止するか、[ビデオ HDV/DV] 設定を変更してください(71ページ)。

---

⊗  Dirty video head. Use a cleaning cassette. (⊗  ヘッドが汚れています。クリーニングカセットを使ってください) (120ページ)

---

Could not synchronize TC (TCを合わせられませんでした)

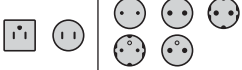


- 接続したカメラにテープが入っているか確認する(74ページ)。
-

# 海外で使う

## 電源について

本機は、海外でも使えます。  
別売りのACアダプター/チャージャー  
AC-VQ1051D(ACCKIT-D12Bに付属)  
は、全世界の電源(AC100V~240V、  
50Hz/60Hz)で使えます。また、バッテ  
リーも充電できます。ただし、電源コンセ  
ントの形状の異なる国や地域では、電源コ  
ンセントにあった変換プラグアダプター  
をあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、  
ご用意ください。  
電子式変圧器(トラベルコンバーター)は  
使わないでください。故障の原因となるこ  
とがあります。

## 海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米 主にヨーロッパなど
 使用する変換プラグアダプター	不要 

## HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るとは (HDV1080i)

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るとは、HDV1080i方式対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントケーブル、AV接続ケーブルが必要です。HDV1080i方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

## DVCAM (DV) 規格で記録した再生画像をDVCAM (DV) 規格で見るとは

DVCAM DV 互換

DVCAM(DV)規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

DVCAM(DV)方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

## テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

## 時差補正機能について

海外で使うとき、[WORLD TIME]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(79ページ)。

# HDV 規格と記録・再生について

本機は、HDV/DVCAM/DV規格の両方の記録機能を搭載したビデオカメラレコーダーです。

HDV/DVCAM/DV規格で記録するときは、**Mini DV** マークが付いたカセットをおすすめします。

DVCAM規格で記録するときは、**DVCAM** マークが付いたカセットをおすすめします。

本機は、カセットメモリー非対応です。

## HDV規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式です。

本機では、有効走査線数1,080本のインターレース方式(1080i、画素数1,440×1,080ドット)を採用しています。

記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。

デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーなどで採用されているMPEG2方式です。

## 再生について

- DVCAM (DV) 規格とHDV規格の1080i方式の両方を再生できます。
- 本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子(⚡)HDV/DV端子)から出力することはできません。

## 無記録部分を作らないために

テープを再生したときは、次の撮影の前にエンドサーチ(40ページ)を行って撮影終了位置に戻します。

## 著作権保護信号について

### ■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

### ■ 記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに「Cannot record due to copyright protection.」(コピープロテクトされています 記録できません)が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

## 音声モードについて

音声モードについてDVCAM方式では、下記の2つがあります。

本機ではアフレコできません。

### ■ FS32K(12ビット)モード

「チャンネル1/2」と「チャンネル3/4」に4つのチャンネルを使って記録できます。撮影時は「チャンネル1/2」に記録されます。他機でアフレコした音声は「チャンネル3/4」に記録されます。再生時にメニューの「[DV AUDIO MIX]」で「[MIX]」を選ぶと、「[CH1, CH2]」と「[CH3, CH4]」の音声を合成して出力します。

### ■ FS48K(16ビット)モード

2つのチャンネルを使い高音質で記録できます。

音声モード液晶画面またはファインダーで確認できます。

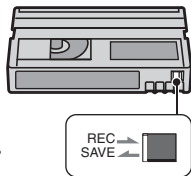
### 取り扱い上のご注意

#### ■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

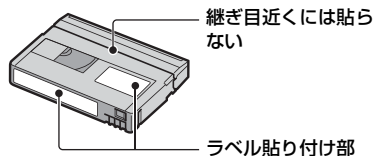
#### ■ 間違って消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。



#### ■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

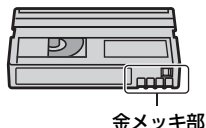


#### ■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください(画像や音声がかかる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

#### ■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



### HDV1080i方式(i.LINK)対応のテレビについて (HDV1080i)

HDV規格で記録した再生画像を見るには、ハイビジョン対応テレビ(D3端子付きまたはHDMI端子付き)をおすすめします。

また、HDV1080i方式(i.LINK)対応のテレビと本機を接続するときは、i.LINKケーブルでつなぐことをおすすめします。お手持ちのテレビがHDV1080i方式(i.LINK)に対応しているかどうかについては、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。



# DVCAM/DV 規格の互換性について

DVCAM規格は、民生用のDV規格に比べて、より信頼性を高めた規格です。DVCAM規格とDV規格の仕様の違い、互換性、編集時の制約事項は、以下の通りです。

## DVCAM規格とDV規格の違い

仕様	DVCAM	DV
トラック幅	15 $\mu$ m	10 $\mu$ m
オーディオ	12bit:32kHz	12bit:32kHz
サンプリング	16bit:48kHz	16bit:32kHz
周波数		44.1kHz 48kHz
オーディオ 記録モード*	ロックモード	ロック／アン ロックモード

\* オーディオ信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。

## カセットの互換性

録画機のフォーマットによって、記録されるフォーマットが決まります。

録画機	使用する カセットの規格	記録された規格
DVCAM機	DVCAM DV	DVCAM
DV機	DVCAM DV	DV

### ❗ご注意

- DVCAM規格でミニDVカセットも使用できませんが、DVCAM規格の高い信頼性を生かすために、ミニDVCAMカセットをおすすめします。
- DVCAM規格でミニDVカセットを使って録画する場合、録画再生可能時間がミニDVカセットに表示されている時間の約2/3になります。

## 再生時の互換性

再生テープの 規格	DV規格の機種	DVCAM規格 の機種
DV	再生できる	SPモードで記録されたテープのみ再生できる
DVCAM	機種によっては再生できる場合もある	再生できる

## DV端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、再生テープと使用する機器の規格によって、作成できるテープの規格が異なります。ダビングのしかたによっては、そのテープを使っでの再生や編集に制約が生じることがあります。あらかじめ「編集時の制約」(114ページ)をお読みになってから、ダビングを行ってください。

再生 テープの 規格	再生機	録画機	ダビング したテープ の規格
DV(SP (標準 モードの み)	DVCAM 機	DVCAM 機 DV機	DVCAM <sup>1)</sup> DV
DV	DV機	DVCAM 機 DV機	DVCAM DV
DVCAM 2)	DVCAM 機	DVCAM 機 DV機	DVCAM DV
DVCAM 2)	DV機	DVCAM 機	DVCAM (機種に よっては できない ものもある)
		DV機	DV

1) DV規格で記録されたテープをミニDVCAM機を使ってDVダビングすると、作成したテープの記録規格は以下のようなDVCAM規格になります。

ータイムコードの書式の一部に不整合がある  
(ただし、特殊な場合を除き編集精度に影響はありません)。

2) 1)のようなDVCAM規格のテープの場合に作成したテープは、オーディオ記録モードがアンロックモードで、タイムコードの一部に不整合があるDVCAM規格のテープになります。

3) 機器によって再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正

しいDVCAM規格のテープを使用しているも、作成したテープはタイムコードの一部に不整合があるDVCAM規格のテープになります。

## ❖ご注意

- 上記1)～3)のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機の規格にかかわらず、機能に制約を生じることがあります。

## 編集時の制約

❖HDV/DV(i.LINK)端子を使用してダビング・編集したテープを編集に使用するとき、DVCAM規格とDV規格の違いにより、以下の制約が生じます。

- トラック幅が違うため、DV規格で記録されたテープの上にDVCAM規格の機器を使って編集することはできません。
- DVCAM規格の機器によっては、オーディオ記録モードがアンロックモードになっているDVCAM規格のテープの上に編集できないことがあります。このような場合は、AV接続ケーブルを使ってダビングし直してください。

# “メモリースティック”について

“メモリースティック” (“Memory Stick”)は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。

本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック (マジックゲート非対応)	—
メモリースティック デュオ*1 (マジックゲート非対応)	○
マジックゲート メモリースティック	—
メモリースティック デュオ*1 (マジックゲート対応)	○*2*3
マジックゲート メモリースティック デュオ*1	○*3
メモリースティック PRO	—
メモリースティック PRO デュオ*1	○*2*3

\*1 標準の約半分大のサイズです。

\*2 高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。転送速度はお使いになる機器により異なります。

\*3 “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

● 静止画の圧縮形式: 本機は、撮影した静止画データをJPEG (Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。

● 静止画の画像のデータファイル名:

— 本機の画面表示: 101-0001

— パソコンの画面表示: DSC00001.JPG

● パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。

● お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

● 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。

## 誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。

## 取り扱い上のご注意

次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

● 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合

● 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

## ■ 取り扱いについて

次のことを守ってください。

● メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。

● “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。

● 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。

● 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。

● 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

## “メモリースティック”について(つづき)

- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

### ■ 使用場所について

次の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

### ■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに挿入すると、標準の“メモリースティック”対応機器でもご使用になれます。

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ アダプターが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

### ■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は4GBまでです。

### 画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック デュオ”が本機で使えないときは、77ページの手順にしたがい本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットすると“メモリースティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - ー パソコンで加工した画像データ
  - ー 他機で撮影した画像データ

# InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには

① InfoLITHIUM ② マークがついています。

## InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

## 充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、CHARGEランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取り外してください。

## バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - ー バッテリーをポケットなどに入れてあたたくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  - ー 高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」のご使用をおすすめします。

- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスィッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のために撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

## バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する⚡マークが点滅することがあります。

## バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(16ページ)。

## バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

# i.LINK(アイリンク)について

本機のi.LINK端子はi.LINK端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

## i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

### ⚠️ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM(DV)対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

## i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

- S100(最大転送速度 約100Mbps\*)
- S200(最大転送速度 約200Mbps)
- S400(最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

### \* Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビット・エス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

## 本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については83ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になります。

なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機とは対応できない仕様ของものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM(DV)対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

### ⚠️ご注意

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
- i.LINKケーブルはソニー製i.LINKケーブルをお使いください。なお純正品以外のケーブルによるi.LINK端子の破損、故障、損害については弊社では責任を負いかねます。またこの場合の弊社製品の修理につきましては保証期間内でも有償修理とさせていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

## 必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。4ピン↔4ピン(HDV/DVCAM(DV)ダビング時)

# 取り扱い上のご注意とお手入れ

## 使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所  
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所  
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所  
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く  
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所  
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)  
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

## ■ 長時間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、[Moisture condensation. Eject the cassette. (■▲結露しています カセットを取り出してください)または[Moisture condensation. Turn off for 1H.](■結露しています 約1時間放置してください)と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

## ■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、**OPEN/EJECT**つまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても■や▲が点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがあります、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

## ■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

## ■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

## 取り扱い上のご注意とお手入れ(つづき)

### ビデオヘッドについて

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できないことがあります。また、再生画像が静止したり、ノイズが多く入ったり、音声が入り切れたりします。
- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。
  - －再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青1色の画面になる。



- －再生画像が静止する。
- －再生画面の一部が動かない。
- －再生画像が出ない、または音声が入り切れる。
- －録画中に[⊗ Dirty video head. Use a cleaning cassette.] (ヘッドが汚れています。クリーニングカセットを使ってください) が表示される。
- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

### 液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

### ■ お手入れ

液晶画面の表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

### 本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
  - －シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
  - －上記が手に付いたまま本機を扱う。
  - －ゴムやビニール製品との長時間接触。

### レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。



## 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプター/チャージャーでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプター/チャージャーで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまま**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

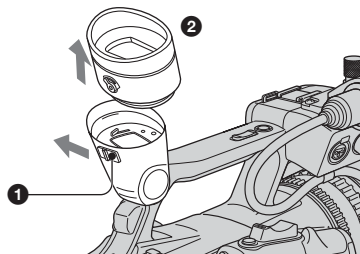
### ■ 充電方法

本機を別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にして24時間以上放置する。

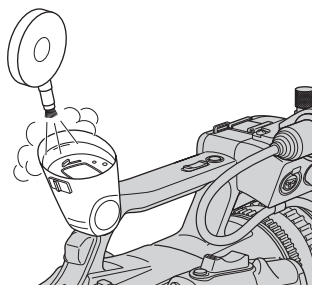
## ファインダーのお手入れについて

### 1 接眼部をはずす。

①ビューファインダー取りはずしつまみを横にずらしたまま、②接眼部を外す。



### 2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



### 3 手順1の逆の手順で接眼部を取り付ける。

## “メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[FORMAT]や[DELETE]では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。廃棄/譲渡の際は、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊するか、市販のパソコンによるデータ消去専用ソフトなどを使って“メモリースティック デュオ”内のデータを完全に消去することをおすすめします。

# 主な仕様

## システム

録画方式 (HDV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式 (DVCAM (DV))	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*1
録音方式 (HDV)	回転ヘッド MPEG-1 Audio Layer2 16ビットFs48kHz(ステレオ) 転送レート 384kbps
録音方式 (DVCAM (DV))	回転ヘッド、PCMシステム 12ビット Fs32kHz (チャンネル1/2 ステレオ) 16ビット Fs48kHz (チャンネル1/2 ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式 1080/60i方式
使用可能カセット	Mini <b>DV</b> マークのついたミニDVカセットまたは <b>[DVCAM]</b> マークのついたミニDVCAMカセット
テープ速度 (HDV)	約18.812mm/秒
テープ速度 (DVCAM)	約28.218mm/秒
テープ速度 (DV SP)	約18.812mm/秒
録画/再生時間 (HDV)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DVCAM)	41分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DV SP)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時: 約2分40秒 (PHDVM-63DM使用時) ACアダプター使用時: 約1分45秒 (PHDVM-63DM使用時)
ファインダー	電子ファインダー: カラー、モノクロ

撮像素子	4.5mm (1/4型) 3CMOSセンサー 総画素数: 約112万画素 静止画記録画素数: 最大120万画素相当*2 (1440×810) (HDV/DV 16:9記録時) 動画時有効画素数 (16:9モード): 約104万画素 動画時有効画素数 (4:3モード): 約78万画素 静止画時有効画素数 (16:9モード): 約104万画素 静止画時有効画素数 (4:3モード): 約78万画素
------	---

ズームレンズ	Carl Zeiss Jena 20倍(光学)、約30倍(デジタル、デジタルエクステンダー[ON]時) f=3.9~78mm 35mmカメラ換算 37.4~748mm (16:9モード) (4:3モードでは45.7~914mm) F1.6~2.8 フィルター径62mm
--------	---

色温度切り換え	屋内(3 200K)、 屋外(5 800K)
最低被写体照度	8 lx(ルクス) (F1.6)

\*1 (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

\*2 ソニー独自のクリアビットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメーシングプロセッサにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

## 出力端子

A/V OUT 端子	10ピン特殊コネクター 映像: 1 Vp-p, 75Ω Y出力 1Vp-p, 75Ω C出力 0.286Vp-p(バースト)、75Ω 音声: 461mV(47kΩ負荷時)、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
COMPONENT OUT 端子	Y: 1Vp-p, 75Ω Pb/Pr, Cb/Cr: ±350mV, 75Ω

HDMI OUT    HDMIコネクタ  
端子

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

\* 同梱マイク使用時

## 入/出力端子

LANC端子    ステレオミニミニジャック  
                  (ø 2.5)

INPUT1/  
INPUT2端子    XLR3ピン、凹  
                  -60dBu: 3kΩ  
                  +4dBu: 10kΩ  
                  (0dBu=0.775Vrms)

USB端子      mini-B

HDTV/DV端子    i.LINK (IEEE1394 4ピンコネ  
                  クター S100)

## 液晶画面

画面サイズ    8.8cm(3.5型、アスペクト比  
                  16:9)

総ドット数    211 200ドット  
                  横960×縦220

## 電源部、その他

電源電圧      バッテリー端子入力7.2V  
                  DC端子入力8.4V

消費電力\*      ファインダー使用時、明るさ標準:  
                  HDV記録時 6.8W  
                  DVCAM(DV)記録時 6.6W  
                  液晶画面使用時、明るさ標準:  
                  HDV記録時 6.8W  
                  DVCAM(DV)記録時 6.6W

動作温度      0℃～+40℃

保存温度      -20℃～+60℃

外形寸法      145×184×431  
                  (最大突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)  
                  145×184×431  
                  (最大突起部含む、バッテリー  
                  バックNP-F570装着状態)(幅×高さ×奥行き)

本体質量      約1.5kg(本体のみ)

撮影時総質量    約1.9kg(バッテリーNP-F570、  
                  テープ(PHDVM-63DM)、レン  
                  ズカバー付きフード、マイク含  
                  む。)

付属品        9ページをご覧ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

## アフターサービス

### ■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にしておて故障かどうかお調べください。

### ■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーのお問い合わせ窓口にご相談ください。

### ■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### ■ 製品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

### ■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



## 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り外してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



## 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



## 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



## 指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

火災やけがの原因となることがあります。



## 機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



## 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



## 電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。





下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

**水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない**

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

**ぬれた手で使用しない**

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

**不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

**コード類は正しく配置する**

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

**通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない**

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

**使用中は機器を布で覆ったりしない**

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

**長期間使用しないときは、電源をはずす**

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

**レンズや液晶画面に衝撃を与えない**

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

**電池や付属品、記録メディア、アクセサリなどを取りはずすときは、手をそえる**

電池や“メモリスティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

---

**ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間続けて聞かない**

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。呼びかけられたら返事が出来るくらいの音量で聞きましょう。



禁止

---

**+48VスイッチがONのとき、INPUT1/2端子には外部電源(+48V)対応以外の機器を接続しない**

+48VスイッチがONのとき、外部電源(+48V)に対応していない機器(マイクなど)をINPUT1/2端子に接続すると、機器が故障する可能性があります。



禁止

---

**⚠ 危険 電池についての  
安全上のご注意とお願い**

**漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや  
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項  
をよくお読みください。**

**⚠ 危険**

- バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアークリップなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

**⚠ 警告**

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



禁止

**⚠ 注意**

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。



指示

**お願い**

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion

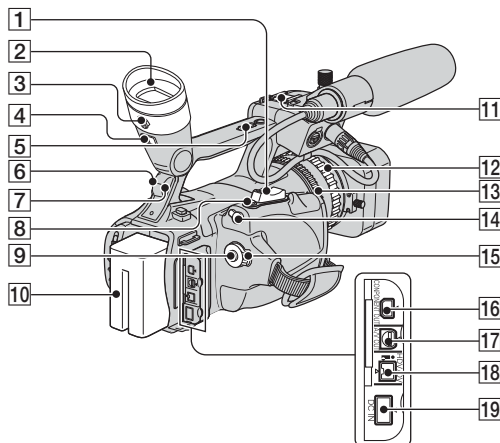
リチウムイオン電池




充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については  
一般社団法人JBRCホームページ  
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。



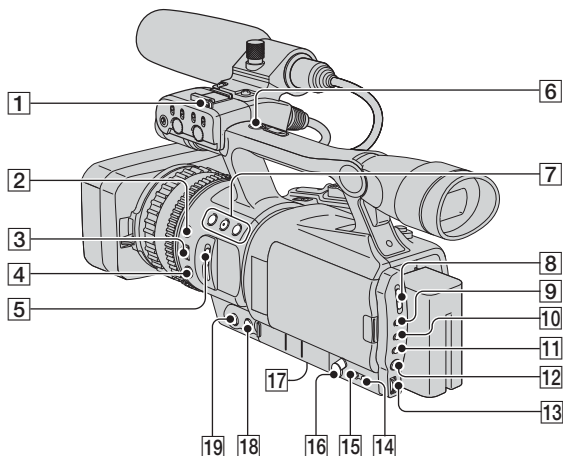
# 各部のなまえ

( )内は参照ページです。



- 1 ズームレバー(27)
- 2 ファインダー(17)
- 3 視度調整つまみ(17)
- 4 ビューファインダー取りはずしつまみ(121)
- 5 ハンドルズームレバー(27)
- 6 後部リモコン受光部(134)
- 7 後部録画ランプ(23)  
テープやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 8 PHOTO/EXPANDED FOCUS ボタン(24)
- 9 REC START/STOPボタン(23)
- 10 バッテリーパック(12)
- 11 アクセサリーシュー
- 12 フォーカスリング(28)
- 13 ズームリング(27)
- 14  LANC 端子  
 LANC端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。
- 15 POWER スイッチ(16)
- 16 COMPONENT OUT 端子(47)
- 17 A/V OUT 端子(47)
- 18  iHDV/DV 端子(47)
- 19 DC IN 端子(13)

## 各部のなまえ(つづき)

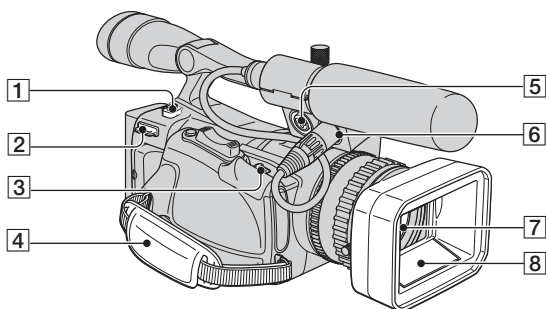


- 1 ショルダーストラップ取り付け部 (131)
- 2 EXPOSURE/IRIS ボタン(31)
- 3 EXPOSURE/IRIS ダイアル(29)
- 4 PUSH AUTO FOCUS ボタン(28)
- 5 ND FILTER スイッチ(1/2/切)(31)
- 6 REC START/STOP ボタン(23)
- 7 ASSIGN ボタン 1～3\*(38)
- 8 AUTO LOCK スイッチ(30)
- 9 GAIN ボタン(32)
- 10 SHUTTER SPEED ボタン\*(32)
- 11 WHT BAL ボタン(33)
- 12 MENU ボタン(52)
- 13 SEL/PUSH EXEC ダイアル(25)
- 14 STATUS CHECK ボタン(43)
- 15 PICTURE PROFILE ボタン(34)
- 16  $\phi$ (ヘッドホン)端子  
ヘッドホンを使うときはステレオミニ  
ジャックのものを教えてください。ヘッドホ  
ンを使うとスピーカーから音は出ません。
- 17 三脚用ネジ穴

三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm以  
下のものを使ってください。ネジの長い三脚  
ではしっかり固定できず、本機を傷付けるこ  
とがあります。

- 18 FOCUS ボタン(28)\*
- 19 EXPANDED FOCUS ボタン(29)

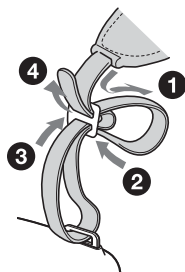
\* ASSIGN ボタン2、FOCUS ボタン、  
SHUTTER SPEED ボタンに凸点(突起)が付  
いています。操作の目印としてお使いくださ  
い。



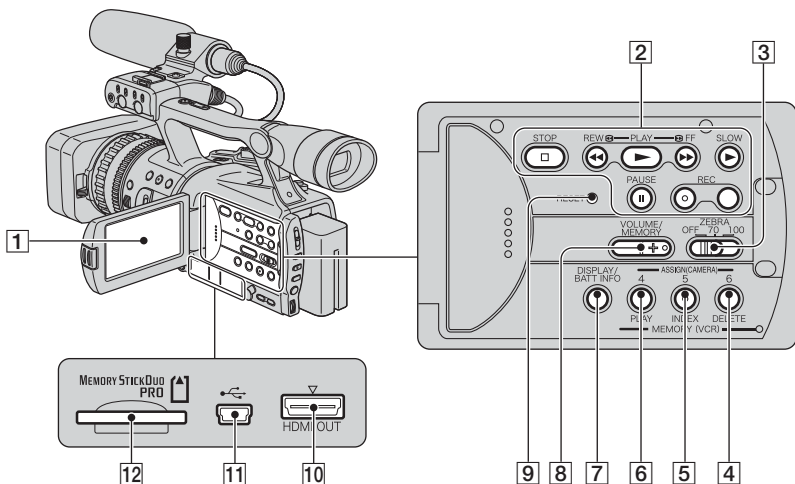
- ① BATT RELEASE ボタン(13)
- ② ショルダーストラップ取り付け部(131)
- ③ OPEN/EJECT つまみ(21)
- ④ グリップベルト(16)
- ⑤ INPUT2 端子(10)
- ⑥ INPUT1 端子(10)
- ⑦ レンズ(5)
- ⑧ レンズカバー付きフード(10)

### ショルダーストラップ(別売り)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。



## 各部のなまえ(つづき)

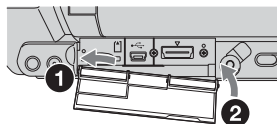


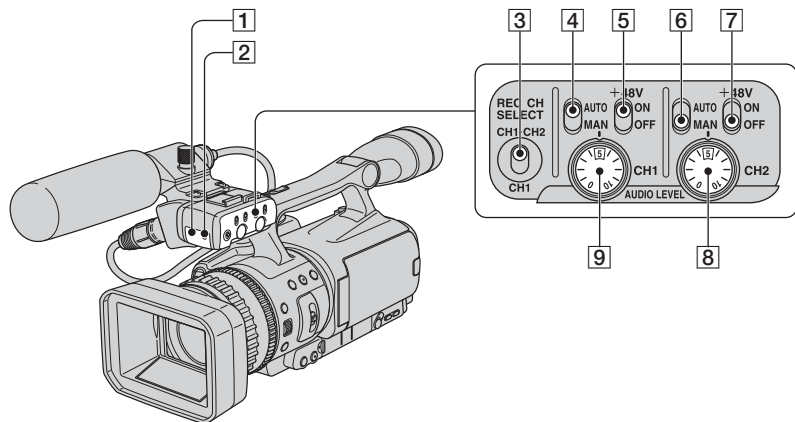
- 1 液晶画面 (17)
- 2 ビデオ操作ボタン(REW・PLAY\*・FF・PAUSE・STOP・SLOW・REC) (25)
- 3 ZEBRA スイッチ (31)
- 4 ASSIGN6, MEMORY/DELETE ボタン (38, 87)
- 5 ASSIGN5, MEMORY/INDEXボタン\* (25, 38)
- 6 ASSIGN4, MEMORY/PLAY ボタン (25, 38)
- 7 DISPLAY/BATT INFO (43)
- 8 VOLUME/MEMORY ボタン\* (25)
- 9 RESET ボタン  
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロフィールとカメラプロフィールで設定した内容は解除されません。
- 10 HDMIOUT 端子 (46)
- 11 USB 端子 (88)
- 12 "メモリスティック デュオ"スロット (22)

\* PLAY、MEMORY/INDEX、VOLUME/MEMORY ボタンに凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

### 端子カバーの取り付けかた

端子カバー取り付け部に図のように取り付けてください。

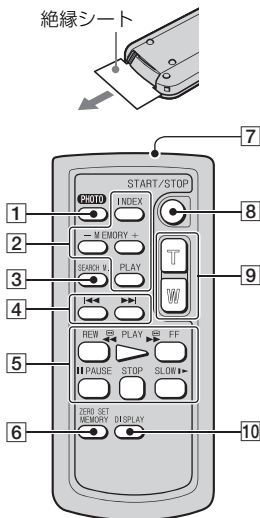




- 1 前部リモコン受光部(134)
- 2 前部録画ランプ(23)  
テープやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。
- 3 REC CH SELECT スイッチ(10)
- 4 CH1 AUTO/MAN スイッチ(37)
- 5 CH1 +48V スイッチ(37)
- 6 CH2 AUTO/MAN スイッチ(37)
- 7 CH2 +48V スイッチ(37)
- 8 CH2 AUDIO LEVEL ダイアル(37)
- 9 CH1 AUDIO LEVEL ダイアル(37)

### ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



**1** PHOTO ボタン(24)

押したときの画像が静止画として“メモリースティック デュオ”に記録されます。

**2** MEMORY ボタン(INDEX、- / +、PLAY)(25)

**3** SEARCH M. ボタン(45)

**4** ◀▶ ボタン

**5** ビデオ操作ボタン(REW、PLAY、FF、PAUSE、STOP、SLOW)(25)

**6** ZERO SET MEMORY ボタン  
本機では無効なボタンです。

**7** リモコン発光部

**8** START/STOP ボタン(23)

**9** ズームボタン(27)

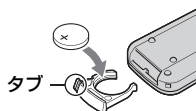
**10** DISPLAY ボタン(43)

**●** リモコンについてのご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

### リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



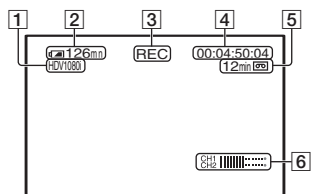
- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

# ファインダーと液晶画面の表示

( )内は参照ページです。

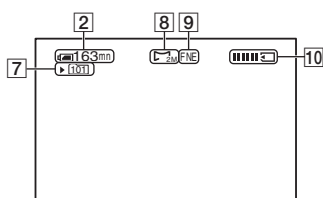
撮影中の画面表示は録画されません。

## 動画を撮影中



- 1 録画フォーマット(HDV1080)またはDVCAMまたはDV SP(71)
- 2 バッテリー残量の目安
- 3 撮影状態([STBY]/[REC])
- 4 撮影中: テープカウンター(時:分:秒:フレーム)  
再生中: タイムコード(時:分:秒:フレーム)
- 5 テープ残量の目安
- 6 オーディオレベルメーター(68)

## 静止画を撮影中

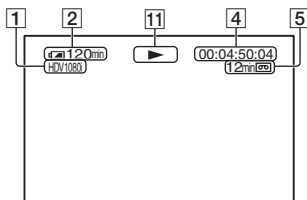


- 7 記録先のフォルダ(77)
- 8 画像サイズ(76)
- 9 画質([FINE]または[STD])(76)
- 10 静止画記録中(24)

## 撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に[DATA CODE]として確認できます(69ページ)。

## 動画を再生中

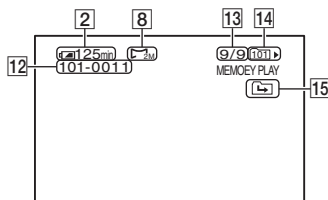


### 11 テープ走行表示

- 録画モード(DVCAMまたはDV SP)は、DVCAM規格またはDV SP規格で記録されたテープを再生するときに表示されます。

DVCAM DV SP

## 静止画を再生中



### 12 データファイル名

### 13 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

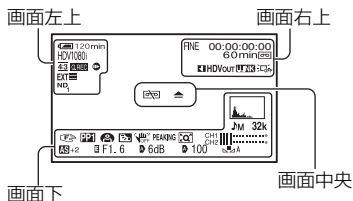
### 14 再生フォルダ(77)

### 15 前後フォルダ表示

“メモリースティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると、[前] [後] [再生] が表示されます。VOLUME/MEMORYボタンでフォルダ移動できます。



## 表示画面の説明



### 画面左上

表示	意味
HDV1080i DVCAM DV 5P	録画フォーマット(71)
4:3	DV WIDE REC(72)*
Q.REC	QUICK REC(80)**
DV FRAME REC (61)*	
ND <sub>1</sub> ND <sub>2</sub> ND OFF	ND フィルター(31)
INTERVAL REC (61)	
EXT REC CTRL (72)	

### 画面右上

表示	意味
FINE STD	画質(76)
INDEX MARK (39)	
HDV IN DV IN	HDV 入力/ DV 入力(71)
HDV Out DV Out	HDV 出力/ DV 出力(71)
i.LINK	i. LINK 接続(48、81、93)
バックライト 切(17)	

### 画面中央

表示	意味
警告 (106)	

## 画面下

表示	意味
HISTOGRAM (66)	
32k 48k	DV AU. MODE (64)*
手動音量調節 (37)	
手動フォーカス (28、39)	
PP1 ~ PP6	ピクチャープロファイル(34)
SPOTLIGHT (62)	
BACK LIGHT (62)	
手ぶれ補正 (58)	
PEAKING	PEAKING (66)
D. EXTENDER (62)	
AE SHIFT (30、59)	
EXPOSURE/IRIS ダイヤル設定 (57)	
自動設定 (67)	
ホワイトバランス (33)	
24pSCAN 24pSCNA 30pSCAN	PROG. SCAN (58)
FOCUS MACRO (59)	
HYPER	HYPER GAIN (62)

\* DVCAM (DV) 規格のときのみ設定で  
きます。

\*\* HDV規格のときのみ設定で  
きます。

☺ちよっと一言

●表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる  
ことがあります。

# 索引

## A

ACアダプター/チャージャー .....	12
AE RESPONSE .....	59
AE SHIFT .....	30, 59, 100
AF ASSIST .....	59
AGC LIMIT .....	59
ALL FILES .....	76
ALL ERASE .....	76
ALLSCAN MODE .....	67, 100
ASPECT .....	67
ASSIGN BTN .....	38, 79
AT IRIS LMT .....	59
ATW SENS. ....	59
AUDIO SETメニュー .....	64
AUDIO CH SEL .....	65
AU. LVL DISP .....	68
AUTO .....	74
AUTO LOCKスイッチ .....	30
AUTO/MANスイッチ .....	37
AU. MAN GAIN .....	64
AV接続ケーブル .....	49, 81
A/V OUT端子 .....	47

## B

BACK LIGHT .....	62, 100
BAR .....	68
BATT RELEASEボタン .....	13
BEEP .....	80
BLACK FADER .....	63
BLK COMPNSTN .....	35

## C

CAM DATA DSP .....	67
CAMERA DATA .....	69
CAMERA PROF. ... ..	78, 100
CAMERA SETメニュー .....	57
CD-ROMマニュアル .....	5
CH1 AUDIO LEVELダイヤル .....	37
CH1 AUTO/MANスイッチ .....	37
CH1 +48Vスイッチ .....	37

CH2 AUDIO LEVELダイヤル .....	37
CH2 AUTO/MANスイッチ .....	37
CH2 +48Vスイッチ .....	37
CINEMA .....	34
CINEMA TONE COLOR .....	35
CINEMA TONE GAMMA .....	35
CLOCK SET .....	19, 79
CNTRST ENHCR .....	58, 100
COLOR LEVEL .....	35
COLOR BAR .....	58
COLOR PHASE .....	35
COMPONENT .....	72
COMPONENT OUT端子 .....	47
COMPRESS .....	35
COPY .....	36
CURRENT FLDR .....	76

## D

DATA CODE .....	69
DATE .....	69
DATE SEARCH .....	45
DATE REC .....	80, 100
DC IN端子 .....	13
DIAL ASSIGN .....	57
DIAL ROTATE .....	57
DIAL SENS. ....	57
DISP OUTPUT .....	70
DISPLAY SETメニュー .....	66
DISPLAY/BATT INFOボタン .....	43
DOWN CONVERT .....	73
DRUM RUN .....	80
DV .....	71
DV AUDIO MIX .....	65
DV AU. MODE .....	64
DV FRAME REC .....	61
DV REC MODE .....	71
DV SP .....	71
DV WIDE REC .....	72

DVCAM .....	71
DVCAM (DV) 規格 .....	71, 113
D.EXTENDER .....	62, 100
D端子コンポーネントケーブル .....	49

## E

EDGE CROP .....	73
END SEARCH .....	40
END TRIGGER .....	57
EXPANDED FOCUSボタン .....	23
EXPOSURE/IRIS .....	57
EXPOSURE/IRISダイヤル .....	29
EXPOSURE/IRISボタン .....	30
EXPOSURE1 .....	29
EXPOSURE2 .....	30
EXP.FOCUS TYPE .....	67
EXT REC CTRL .....	72, 100

## F

FADER .....	62
FILE NO. ....	77
FINE .....	76
FLCKR REDUCE .....	60
FOCUS DISP .....	68
FOCUS INFNTY .....	39
FOCUS MACRO .....	59
FOCUSボタン .....	28
FORMAT .....	77
FREE RUN .....	75
FS32K .....	64
FS48K .....	64

## G

GAINボタン .....	32
GUIDEFAME .....	67

## H

HANDLE ZOOM .....	60
HDMIケーブル .....	48
HDMI端子 .....	47

HDV/DV端子.....	47
HDV1080i.....	71
HDV規格.....	71, 111
HD(ハイビジョン)画質.....	46
HISTOGRAM.....	66, 100
HOURS METER.....	80
HYPER GAIN.....	62

## I

i.LINK.....	118
i.LINKケーブル.....	48, 93, 94
INDEX MARK.....	39
INDEX SEARCH.....	45
InfoLITHIUM/バッテリー.....	117
INPUT1.....	37
INPUT1 LEVEL.....	64
INPUT1 TRIM.....	64
INPUT1 WIND.....	64
INPUT1端子.....	10
INPUT2.....	37
INPUT2 LEVEL.....	65
INPUT2 TRIM.....	65
INPUT2 WIND.....	65
INPUT2端子.....	10
INTELLIGENT.....	60
INTERVAL.....	61
INTERVAL REC.....	61, 100
IN/OUT RECメニュー.....	71
IRIS.....	30
i.LINK CONV.....	72

## J

JPEG.....	115
-----------	-----

## K

KNEE POINT.....	35
-----------------	----

## L

LANC端子.....	129
LANGUAGE.....	79
LAST SCN RWV.....	40
LCD BL LEVEL.....	68

LCD BLIGHT.....	68
LCD COLOR.....	68
LETTER BOX.....	73
LETTER SIZE.....	70
LINE.....	64
LINEAR.....	60
LINKED.....	64

## M

Macintosh.....	90
MARKER.....	66, 100
MEMORY SETメニュー.....	76
MEMORY/DELETEボタン.....	87
MEMORY/INDEXボタン.....	25
MEMORY/PLAYボタン.....	25
MENUボタン.....	19, 52
MIC.....	64
MIC NR.....	64
MIX.....	65
MONOTONE.....	34
MPEG2.....	95

## N

ND FILTERスイッチ.....	31
NDF.....	74
NDフィルター.....	31
NEW FOLDER.....	77
NTSC.....	102, 110
NUMBER.....	68

## O

OPEN/EJECTつまみ.....	21
OPENボタン.....	17
OPERATION.....	80
OTHERSメニュー.....	78

## P

PAL.....	102
PB FOLDER.....	77
PB ZOOM.....	79
PEAKING.....	66

PHOTO/EXPANDED FOCUSボタン.....	23, 79
PHOTO/EXP.FOCUS.....	79
PictBridge.....	88
PictBridge PRINT.....	79, 88
PICTURE PROFILEボタン.....	34
PLAYボタン.....	25
PORTRAIT.....	34
POWERスイッチ.....	16
PRESET.....	74
PROFILE NAME.....	35
PROG. SCAN.....	58
PUSH AUTO FOCUSボタン.....	28

## Q

QUALITY.....	76
QUICK REC.....	80

## R

REC CH SELECTスイッチ.....	10
REC CTL MODE.....	72, 100
REC FOLDER.....	77
REC FORMAT.....	71
REC LAMP.....	80
REC LINK.....	61
REC PAUSE.....	72
REC REVIEW.....	40
REC RUN.....	74
REC START STOPボタン.....	23
REC TIME.....	57, 61
REC TIMING.....	57
REGENERATE.....	75
RELAY.....	72
REMAINING.....	70
REMOTE CTRL.....	80
RESET.....	36
RESETボタン.....	132

## S

SAFETY ZONE.....	67
------------------	----

SD(標準)画質 .....	46
SEARCH M. ....	45
SEL/PUSH EXECダイヤル .....	19
SEPARATE .....	64
SHARPNESS .....	35
SHOT TRANS .....	40, 60
SHUTTER DISP .....	68
SHUTTER SPEEDボタン .....	32
SKINTONE DTL .....	35
SKINTONE LVL .....	35
SMTH SLW REC ...	57, 100
SOFT STOP .....	60
SOFT TRANS .....	60
SPOTLIGHT .....	62, 100
SQUEEZE .....	73
STANDARD .....	76
START TIMER .....	61
START TRIGGR .....	57
STATUS CHECKボタン .....	43
STBY COMMAND .....	72
STEADYSHOT .....	58
STOP .....	72
SUNSET .....	34
SYNCHRONOUS .....	72
S1、S2映像端子 ...	46, 50, 81

## T

TAPE RUN .....	80
TC .....	75
TC FORMAT .....	74
TC LINK .....	75
TC MAKE .....	75
TC PRESET .....	74
TC RUN .....	74
TC/UB DISP .....	75
TC/UB SETメニュー .....	74
THREADING .....	80
TONE .....	59
TRANS CURVE .....	60
TRANS TIME .....	60

## U

UB PRESET .....	74
UB TIME REC .....	75
U-BIT .....	75
USB SELECT .....	79
USBケーブル .....	88, 90, 92
USB端子 .....	88, 91

## V

VCR HDV/DV .....	71
VF B. LIGHT .....	69
VF COLOR .....	69
VF POWER MODE .....	69
VOLUME/MEMORYボタン .....	25
V-OUT/PANEL .....	70

## W

WB SHIFT .....	35
WHITE FADER .....	63
WHT BALボタン .....	33
WIDE CONV. ....	58
Windows .....	90
WORLD TIME .....	79

## X

XLR SET .....	64
---------------	----

## Z

ZEBRAスイッチ .....	31
ZOOM DISPLAY .....	68

## Symbols

+48Vスイッチ ...	10, 37, 133
--------------	-------------

## 数字

1080i/480i .....	72
480i .....	72
4:3テレビ .....	46

## A行

アイコン .....	画面表示へ
------------	-------

アイリンク .....	i.LINKへ
アクセスランプ .....	22
アフターサービス .....	124
印刷 .....	88
インデックスサーチ .....	45
インデックス信号 .....	39
インデックス表示 .....	26
インフォリチウムバッテリー .....	117
液晶画面 .....	17
液晶画面バックライト .....	17
エンドサーチ .....	40
大型アイカップ .....	18
屋外 .....	33
屋内 .....	33
お知らせメッセージ .....	107
お手入れ .....	119
主な仕様 .....	122
音量 .....	26, 37

## 力行

海外で使う .....	110
拡大フォーカス .....	29
カセット .....	21
入れる/取り出す .....	21
カセット入れ .....	21
カセットカバー .....	21
カセットラベル .....	ラベルへ
画像消去 .....	87
カメラプロファイル .....	78
画面表示 .....	135
画面表示出力 .....	43, 70
逆光補正 .....	62
グリップベルト .....	16
警告表示 .....	106
ゲイン .....	32
ケーブルホルダー .....	10
結露 .....	119
広角 .....	27
高速アクセス .....	26
故障かな?と思ったら .....	96
誤消去防止スイッチ .....	115
誤消去防止ツマミ .....	112

コンピューター.....パソコンへ	
コンポーネントビデオケーブル.....	47

## サ行

再生.....	25
再生可能時間.....	14
撮影.....	23
撮影可能時間.....	14
撮影可能枚数.....	76
三脚用ネジ穴.....	130
残量.....	

テープ.....	135
----------	-----

バッテリー.....	44
------------	----

残量表示.....	44
自己診断表示.....	106
自分撮り.....	24
シャッタースピード.....	32
充電時間.....	14
準備.....	9
消去.....	

画像.....	87
---------	----

商標.....	143
初期化.....フォーマットへ	
ショットトランジション.....	40
ショルダーストラップ.....	131
ショルダーストラップ取り付け部.....	130, 131

ズーム.....	27
ズームリング.....	27
ズームレバー.....	27
ステータスチェック.....	43
静止画.....	26

圧縮形式.....	115
-----------	-----

画質.....	76
---------	----

絶縁シート.....	134
------------	-----

## 接続

テレビに.....	46
-----------	----

ビデオ機器に.....	81
-------------	----

ゼブラパターン.....	31
--------------	----

## タ行

タイムコード.....	135
-------------	-----

対面撮影.....	24
ダビング.....	81
端子カバー.....	22
テープ.....カセットへ	
テープカウンター.....	135
テープ残量.....	135
テレビ方式.....	110
電源コード.....	12
ドロップフレーム.....	74

## ナ行

内蔵充電式電池.....	120
--------------	-----

## ハ行

ハイビジョンテレビ.....	47
パソコン.....	90
バックライト..液晶画面バックライトへ	

バッテリー.....	12
バッテリーインフォ.....	44
バッテリー残量.....	44, 135

パネル.....液晶画面へ	
---------------	--

ハンドルズーム.....	27
--------------	----

ピクチャーサーチ.....	26
---------------	----

ピクチャープロファイル.....	34
------------------	----

日付サーチ.....	45
------------	----

日付時刻.....	20, 135
-----------	---------

日付時刻合わせ.....	19
--------------	----

ビデオカセット.....カセットへ	
-------------------	--

ビデオ出力//パネル.....	70
-----------------	----

ビデオ操作ボタン.....	134
---------------	-----

ビデオヘッド.....	120
-------------	-----

ピント.....	28
----------	----

ファインダー.....	17
-------------	----

明るさ.....	69
----------	----

視度調整つまみ.....	17
--------------	----

取りはずしつまみ.....	129
---------------	-----

フード固定ネジ.....	10
--------------	----

フォーカスリング.....	28
---------------	----

フォーマット(初期化).....	77
------------------	----

フォルダ.....	
-----------	--

記録フォルダ選択.....	77
---------------	----

再生フォルダ選択.....	77
---------------	----

フォルダ作成.....	77
付属品.....	9
ヘッドホン端子.....	130
望遠.....	27
保証書.....	124
ボタン電池.....	134
ホワイトバランス.....	33, 59

## マ行

マイク.....	10
マイクホルダー.....	10
マッキントッシュ.....Macintoshへ	

メニュー.....	52, 76
-----------	--------

AUDIO SET.....	64
----------------	----

CAMERA SET.....	57
-----------------	----

DISPLAY SET.....	66
------------------	----

IN/OUT REC.....	71
-----------------	----

MEMORY SET.....	76
-----------------	----

OTHERS.....	78
-------------	----

TC/UB SET.....	74
----------------	----

一覧.....	54
---------	----

メニューの使いかた.....	52
----------------	----

"メモリスティック".....	115
-----------------	-----

"メモリスティック デュオ".....	21
---------------------	----

入れる/取り出す.....	22
---------------	----

誤消去防止スイッチ.....	115
----------------	-----

撮影可能枚数(静止画).....	76
------------------	----

フォーマット.....	77
-------------	----

メモリスティック デュオ	
--------------	--

アダプター.....	116
------------	-----

"メモリスティック デュオ"	
----------------	--

スロット.....	22
-----------	----

持ちかた.....	16
-----------	----

## ラ行

ラストシーンレビュー.....	40
-----------------	----

ラベル.....	112
----------	-----

リチャージャブルバッテリー	
---------------	--

バック.....バッテリーへ	
----------------	--

リモコン.....	45, 134
-----------	---------

リモコン発光部.....	134
--------------	-----

レックレビュー.....	40
--------------	----

レンズカバー付きフード.....	10
録画.....	23
録画操作.....	85
録画ランプ.....	23

## ワ行

ワイドテレビ .....	46
ワイヤレスリモコン ..... リモコンへ	
ワンプッシュオートフォーカ ス .....	28

## 商標について

- “Memory Stick”、“メモリスティック”、、“メモリスティック デュオ”、“**MEMORY STICK DUO**”、“メモリスティック PRO デュオ”、“**MEMORY STICK PRO Duo**”、“マジックゲート”、“**MAGICGATE**”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリスティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリスティック デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK,はソニー株式会社の商標です。
- Mini  Digital Video Cassette は商標です。
-  は商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

## ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。